

共通仕様書（農林水産土木工事編）—本文— 新旧対照表

新（令和7年4月1日）					旧（令和6年4月1日）				
共通仕様書 （農林水産土木工事編） 令和7年4月1日  福島県農林水産部					共通仕様書 （農林水産土木工事編） 令和6年4月1日  福島県農林水産部				
目次（略） 第1章 総則 第1節 総則 第101条 1（略） 2 受注者は、本仕様書を福島県土木部編集発行の共通仕様書（土木工事編Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）に優先して適用するものとし、本仕様書に定めのないものについて、土木工事編の文中にある字句をそれぞれ次のとおり読み替えて適用するものとする。 （略）  第102条（略） 第103条 段階確認 1（省略） 表1 「段階確認一覧」					目次（略） 第1章 総則 第1節 総則 第101条 1（略） 2 受注者は、本仕様書を福島県土木部監修の共通仕様書（土木工事編Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）に優先して適用するものとし、本仕様書に定めのないものについて、土木工事編の文中にある字句をそれぞれ次のとおり読み替えて適用するものとする。 （略）  第102条（略） 第103条 段階確認 1（省略） 表1 「段階確認一覧」				
一般：一般監督 重点：重点監督					一般：一般監督 重点：重点監督				
種別	細別	確認時期	確認項目	確認の頻度	種別	細別	確認時期	確認項目	確認の頻度
指定仮設工		設置完了時	使用材料、高さ、幅、長さ、深さ、 <u>間隔</u> 等	1回／1工事	指定仮設工		設置完了時	使用材料、高さ、 <u>    </u> 等	1回／1工事
～～省略～～					～～省略～～				

共通仕様書（農林水産土木工事編）—本文— 新旧対照表

新（令和7年4月1日）					旧（令和6年4月1日）				
種別	細別	確認時期	確認項目	確認の頻度	種別	細別	確認時期	確認項目	確認の頻度
～～省略～～					～～省略～～				
道路土工（路床盛土工）		プルーフローリング実施時	<u>プルーフローリング実施状況</u>	1回／1工事	道路土工（路床盛土工）		プルーフローリング実施時	<u>路盤のたわみ</u>	1回／1工事
～～省略～～					～～省略～～				
舗装工	下層路盤	プルーフローリング実施時	<u>プルーフローリング実施状況</u>	1回／1工事	舗装工	下層路盤	プルーフローリング実施時	<u>路盤のたわみ</u>	1回／1工事
～～省略～～					～～省略～～				
矢板工（ <u>任意</u> 仮設を除く）	鋼矢板	打込時	使用材料、長さ、溶接部の適否	試験矢板＋（一般） 1回／150枚（重点） 1回／100枚	矢板工（ <u>      </u> 仮設を除く）	鋼矢板	打込時	使用材料、長さ、溶接部の適否	試験矢板＋（一般） 1回／150枚（重点） 1回／100枚
～～省略～～					～～省略～～				
鋼橋		仮組立て完了時（ <u>シミュレーションによる代替等</u> 、仮組立が省略となる場合を除く）	キャンバー、寸法等	（一般）－ （重点） 1回／1構造物	鋼橋		仮組立て完了時（ <u>      </u> <u>      </u> <u>      </u> 仮組立が省略となる場合を除く）	キャンバー、寸法等	（一般）－ （重点） 1回／1構造物
～～省略～～					～～省略～～				
<u>地覆工</u> <u>橋梁用高欄工</u>				<u>鉄筋組立て完了時</u>	<u>      </u> <u>      </u> <u>      </u>				<u>      </u> <u>      </u>
～～省略～～					～～省略～～				

共通仕様書（農林水産土木工事編）一本文一 新旧対照表

新（令和7年4月1日）	旧（令和6年4月1日）
<p>注）1～5 （略）</p> <p>6 重点監督：下記の工事</p> <p>(1)～(3) （略）</p> <p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>低入札価格調査制度調査対象工事</u></li> <li>・ <u>事務所長（本庁で監督業務を行う場合は、担当課長）が必要と認めた工事</u></li> </ul> <p>第104条～第109条 （略）</p> <p>第2節～第4節 （略）</p> <p>第2章 水路工</p> <p>第1節～第3節 （略）</p> <p>第4節 水路トンネル</p> <p>第208条 適用</p> <p>水路トンネル工事の施工にあたっては、農林水産省農村振興局整備部設計課 <u>編集発行</u>の土木 <u>工事</u>共通仕様書 _____ を準用するものとする。</p> <p>第3章 管路工</p> <p>第1節 （略）</p> <p>第2節 運搬及び保管</p> <p>第302条 一般</p> <p>1 （略）</p> <p>2 受注者は管及び付属品の運搬に際して、車体の動揺等による管体同士または車体との接触を避けるため、<u>緩衝材</u> _____ 等で管の保護を行うとともに、クサビ止め、ロープ掛け等で固定しなければならない。</p> <p>3～4 （略）</p>	<p>注）1～5 （略）</p> <p>6 重点監督：下記の工事</p> <p>(1)～(3) （略）</p> <p>(4) その他</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>第104条～第109条 （略）</p> <p>第2節～第4節 （略）</p> <p>第2章 水路工</p> <p>第1節～第3節 （略）</p> <p>第4節 水路トンネル</p> <p>第208条 適用</p> <p>水路トンネル工事の施工にあたっては、農林水産省農村振興局整備部設計課 <u>監修</u> _____の土木 _____共通仕様書 <u>（平成15年5月（最終改正平成29年9月））</u> _____を準用するものとする。</p> <p>第3章 管路工</p> <p>第1節 （略）</p> <p>第2節 運搬及び保管</p> <p>第302条 一般</p> <p>1 （略）</p> <p>2 受注者は管及び付属品の運搬に際して、車体の動揺等による管体同士または車体との接触を避けるため、<u>ゴムシート、ムシロ</u> _____等で管の保護を行うとともに、クサビ止め、ロープ掛け等で固定しなければならない。</p> <p>3～4 （略）</p>

共通仕様書（農林水産土木工事編）一本文一 新旧対照表

新（令和7年4月1日）	旧（令和6年4月1日）
<p>第3節～第8節（略）                      第4章 ほ場整備工                      第1節（略）                      第2節 整地工                      第408条～第411条（略）                      第412条 基盤整地                      _（略）</p>	<p>第3節～第8節（略）                      第4章 ほ場整備工                      第1節（略）                      第2節 整地工                      第408条～第411条（略）                      第412条 基盤整地                      1（略）                      2 基盤整地は用水側が排水側よりやや高くなるよう仕上げるものとする。</p>
<p>第413条 表土整地                      1～2（略）                      3 受注者は、表土整地にあたって、耕作に支障のないよう設計図書に明示する表土厚さを確保し、_____均平に仕上げなければならない。</p>	<p>第413条 表土整地                      1～2（略）                      3 受注者は、表土整地にあたって、耕作に支障のないよう設計図書に明示する表土厚さを確保し、<u>用水側をやや高く</u>、均平に仕上げなければならない。</p>
<p>第413-2条 畑面整地                      （略）。  <u>ただし、設計図書に明示された勾配が確保できない場合には、監督員と協議しなければならない。</u></p>	<p>第413-2条 畑面整地                      （略）</p>
<p>第414条（略）</p>	<p>第414条（略）</p>







共通仕様書（農林水産土木工事編）一本文一 新旧対照表

新（令和7年4月1日）	旧（令和6年4月1日）
<p>第 612 条 溶接 溶接は、土木工事編 I 第 3 編第 1 章「<u>一般施工</u>」 _____の関係条文に準じるものとする。</p> <p>第 613 条 ボルト接合 ボルト接合は、土木工事編 I 第 3 編第 1 章「<u>一般施工</u>」 _____の関係条文に準じるものとする。</p> <p>第 614 条 塗装 塗装は、土木工事編 I 第 3 編第 1 章「<u>一般施工</u>」 _____の関係条文に準じるものとする。</p> <p>第 3 節～第 1 1 節 （略） 第 1 2 節 電気通信設備据付工 第 645 条 （略） 第 646 条 受変電設備工 1 （略） 2 (1) (略) (2) あと施工アンカー工法におけるアンカーボルト<u>の施工方法は</u>基礎ボルト種類により、適切な孔径の選定を行うこと。 (3)～(7) (略) 第 647 条～第 649 条 （略） 第 7 章～第 1 6 章 （略）</p>	<p>第 612 条 溶接 溶接は、土木工事編 I 第 4 編第 4 章「<u>鋼橋上部</u>」及び第 5 編第 4 章「<u>水門</u>」、第 5 章「<u>堰</u>」の関係条文に準じるものとする。</p> <p>第 613 条 ボルト接合 ボルト接合は、土木工事編 I 第 4 編第 4 章「<u>鋼橋上部</u>」及び第 5 編第 4 章「<u>水門</u>」、第 5 章「<u>堰</u>」の関係条文に準じるものとする。</p> <p>第 614 条 塗装 塗装は、土木工事編 I 第 3 編 1-3-31「<u>現場塗装工</u>」及び同編 1-12-11「<u>工場塗装工</u>」、第 4 編第 4 章「<u>鋼橋上部</u>」、第 5 編第 4 章「<u>水門</u>」、第 5 章「<u>堰</u>」の関係条文に準じるものとする。</p> <p>第 3 節～第 1 1 節 （略） 第 1 2 節 電気通信設備据付工 第 645 条 （略） 第 646 条 受変電設備工 1 （略） 2 (1) (略) (2) あと施工アンカー工法におけるアンカーボルト<u>工法における</u>基礎ボルト種類により、適切な孔径の選定を行うこと。 (3)～(7) (略) 第 647 条～第 649 条 （略） 第 7 章～第 1 6 章 （略）</p>

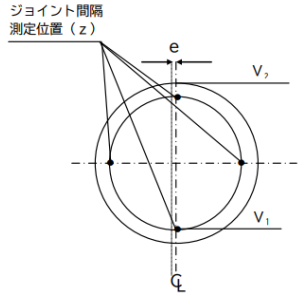
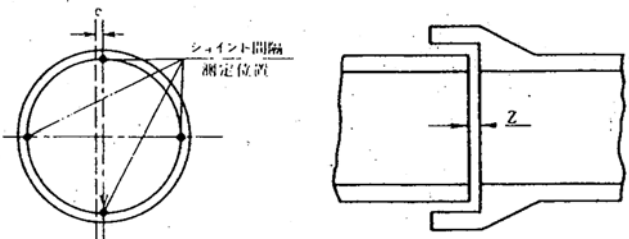


共通仕様書（農林水産土木工事編）「出来形管理基準及び規格値」 新旧対照表

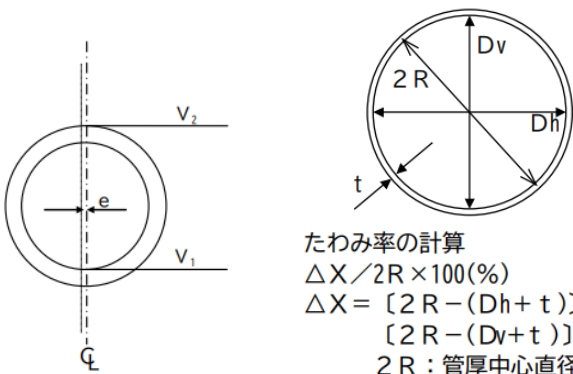
工種	新（令和7年4月1日）		旧（令和6年4月1日）	
1 水路工事 2 コンクリート 二次製品水路	測定基準	<p>施工延長おおむね 50m （測点間隔 20m にあつては 40m）につき 1 <u>箇所</u>の割合で測定する。 上記未満は 2 <u>箇所</u>測定する。</p>	測定基準	<p><u>基準高（直線部）については</u>施工延長おおむね 50m （測点間隔 20m にあつては 40m）につき 1 <u>ヶ所</u>の割合で測定する。 上記未満は 2 <u>ヶ所</u>測定する。 <u>幅、高さについては施工延長 50m（測点間隔 20m にあつては 40m）につき 1ヶ所の割合で測定する。</u> <u>上記未満は 2ヶ所測定する。</u></p>
1 水路工事 4 コンクリート 二次製品水路	測定基準	<p>施工延長おおむね 50m（測点間隔 20m にあつては 40m）につき 1 <u>箇所</u>の割合で測定する。 上記未満は 2 <u>箇所</u>測定する。</p>	測定基準	<p>施工延長おおむね 50m（測点間隔 20m にあつては 40m）につき 1 <u>ヶ所</u>の割合で測定する。 上記未満は 2 <u>ヶ所</u>測定する。</p>
1 水路工事 5 ライニング水路	測定基準	<p>施工延長おおむね 50m （測点間隔 20m にあつては 40m）につき 1 <u>箇所</u>の割合で測定する。 上記未満は 2 <u>箇所</u>測定する。</p>	測定基準	<p><u>基準高（直線部）については</u>施工延長おおむね 50m （測点間隔 20m にあつては 40m）につき 1 <u>ヶ所</u>の割合で測定する。 上記未満は 2 <u>ヶ所</u>測定する。 <u>幅、高さについては施工延長 50m（測点間隔 20m にあつては 40m）につき 1ヶ所の割合で測定する。</u> <u>上記未満は 2ヶ所測定する。</u></p>
1 水路工事 6 開水路（現場打）	測定基準	<p>施工延長おおむね 50m（測点間隔 20m にあつては 40m）につき 1 <u>箇所</u>の割合で測定する。 上記未満は 2 <u>箇所</u>測定する。</p>	測定基準	<p><u>基準高・厚さ・幅・高さについては</u>施工延長おおむね 50m（測点間隔 20m にあつては 40m）につき 1 <u>ヶ所</u>の割合で測定する。 上記未満は 2 <u>ヶ所</u>測定する。</p>
1 水路工事 8 暗渠（現場打）	測定基準	<p>施工延長おおむね 50m（測点間隔 20m にあつては 40m）につき 1 <u>箇所</u>の割合で測定する。 上記未満は 2 <u>箇所</u>測定する。</p>	測定基準	<p><u>基準高・厚さ・幅・高さについては</u>施工延長おおむね 50m（測点間隔 20m にあつては 40m）につき 1 <u>ヶ所</u>の割合で測定する。 上記未満は 2 <u>ヶ所</u>測定する。</p>



共通仕様書（農林水産土木工事編）「出来形管理基準及び規格値」 新旧対照表

工種	新（令和7年4月1日）		旧（令和6年4月1日）	
1 水路工事 1.1 管水路（遠心力鉄筋コンクリート管）	測定基準	基準高・中心線のずれ <u>                    </u> については施工延長おおむね 50m(測点間隔 20m にあつては 40m) につき 1 <u>箇所</u> の割合で測定する。 上記未満は 2 <u>箇所</u> 測定する。 （略）	測定基準	基準高・中心線のずれ <u>（直線部）</u> については施工延長おおむね 50m(測点間隔 20m にあつては 40m) につき 1 <u>ヶ所</u> の割合で測定する。 上記未満は 2 <u>ヶ所</u> 測定する。 （略）
	測定箇所	 <p style="text-align: center;">ジョイント間隔 測定位置 (z)</p> <p style="text-align: center;">基準高 (V) は、V<sub>1</sub>、V<sub>2</sub> のいずれか一方を測定し管理する。</p>	測定箇所	
	摘要	（略） <u>基準高 (V) の測定は管底 (V1) を原則とし、測定時期は埋戻完了とする。ただし、φ1,350 mm 以下又は管底での測定作業が困難な場合は、管頂まで埋戻後の管頂 (V2) でもよい。</u> <u>中心線のずれ (e) の測定は管頂まで埋戻時の管頂を原則とする。</u> <u>なお、「埋戻完了」とは、特に指示がない場合は舗装 (表層、上層路盤、下層路盤) を除いた埋戻完了時点とする。</u>	摘要	（略）

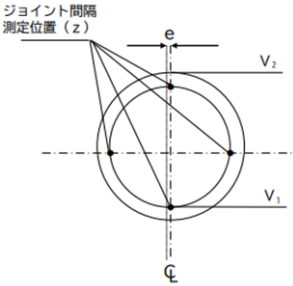
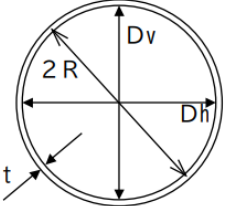
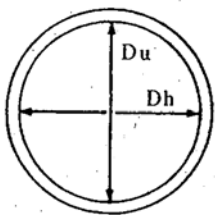
共通仕様書（農林水産土木工事編）「出来形管理基準及び規格値」 新旧対照表

工種	新（令和7年4月1日）		旧（令和6年4月1日）		
1 水路工事 1 2 管水路（鋼管）	項目 規格値（mm）	①～③（略） ④放射線透過試験 ⑤塗装厚 ⑥たわみ率	別表エ参照 別表オ参照 ±5% ※測定箇所の「たわみ率の計算」に基づき算出された数値により判定する。	項目 規格値（mm）	①～③（略） ④レントゲン 塗装厚 _____ _____ _____ _____
	測定基準	基準高、中心線のずれ、たわみ率については施工延長おおむね50m（測点間隔20mにあつては40m）につき1箇所割合で測定する。 上記未満は2箇所測定する。 放射線透過試験、塗装厚については、別表エ、オのとおりとする。 たわみ測定は、定尺管の中央部とする。測定時期は管据付時（接合完了後）、管頂埋戻時及び埋戻完了時とする。		測定基準	同上 _____ _____ _____ _____ _____ _____
	測定箇所	 <p>たわみ率の計算  <math>\Delta X / 2R \times 100(\%)</math>  <math>\Delta X = [2R - (Dh + t)]</math> 又は  <math>[2R - (Dv + t)]</math>                      2R：管厚中心直径                      t：管厚</p> <p>※計算に使用する2R、tは、測定する管材の材料承認等の数値による。</p>		測定箇所	前図と同一

共通仕様書（農林水産土木工事編）「出来形管理基準及び規格値」 新旧対照表

工種	新（令和 7 年 4 月 1 日）		旧（令和 6 年 4 月 1 日）	
1 水路工事 1 2 管水路（鋼管）	摘要	<p>管種の適用範囲は、<u>JIS G 3443-1、WSP A 101-2009</u>とする。</p> <p>基準高（V）の測定は管底（V1）を原則とし、測定時期は埋戻完了とする。ただし、<math>\phi 1,350</math> mm以下又は管底での測定作業が困難な場合は、管頂まで埋戻後の管頂（V2）でもよい。</p> <p>中心線のずれ（e）の測定は管頂まで埋戻時の管頂を原則とする。</p> <p>たわみ率は、管径 900mm 以上に適用する。矢板施工の場合は管据付時、矢板抜き時及び埋戻完了時に測定する。</p> <p>なお、「埋戻完了」とは、特に指示がない場合は舗装（表層、上層路盤、下層路盤）を除いた埋戻完了時点とする。</p>	摘要	<p><u>JIS G 3443</u> <u>JIS G 3451 水輸送用、塗装鋼管及び異形管</u></p>

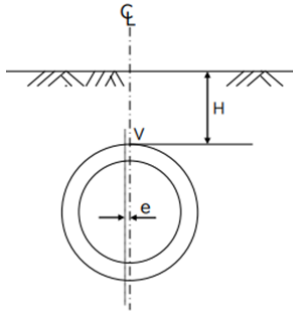

共通仕様書（農林水産土木工事編）「出来形管理基準及び規格値」 新旧対照表

工種	新（令和7年4月1日）		旧（令和6年4月1日）	
1 水路工事 1 3 管水路(ダクタイル 鋳鉄管、強化プラ スチック複合管)	工種          項目 規格値 (mm)	13 管水路 ( <u>ダクタイル</u> 鋳鉄管、強化 <u>プラスチック</u> <u>複合管</u> )  ①～② (略) ③ジョイント間隔 (Z) 別表イ、ウ <u>参照</u>  ④ <u>施工延長</u> ⑤ <u>たわみ率</u>  (略) ±5% ※測定箇所の「 <u>たわみ率の計                      算</u> 」に基づき算出された数値 により判定する。	工種          項目 規格値 (mm)	13 管水路 ( <u>                    </u> 鋳鉄管、強化 <u>プラスティッ                      ク</u> 複合管)  ①～② (略) ③ジョイント間隔 (Z) 別表イ、ウ、 <u>エ</u> 参照 ④ <u>レントゲン</u> <u>塗装厚</u> ⑤ <u>施工延長</u> ⑥ <u>たわみ率</u>  別表オ、カ参照 (略) ±5%
測定基準	基準高・中心線のずれ・たわみ率については施工延 長おおむね 50m (測点間隔 20m にあつては 40m) に つき 1 <u>箇所</u> の割合で測定する。 上記未満は 2 <u>箇所</u> 測定する。 (略)		基準高・中心線のずれ・たわみ率については施工延 長おおむね 50m (測点間隔 20m にあつては 40m) につき 1 <u>ヶ</u> 所の割合で測定する。 上記未満は 2 <u>ヶ</u> 所測定する。 (略)	
測定箇所	  <p>ジョイント間隔 測定位置 (z)</p> <p>基準高 (V) は、V<sub>1</sub>、V<sub>2</sub>のいづれ か一方を測定し管理する。</p> <p>たわみ率の計算  <math>\Delta X / 2R \times 100 (\%)</math>  <math>\Delta X = [2R - (Dh + t)]</math> 又は  <math>[2R - (Dv + t)]</math>                      2R : 管厚中心直径                      t : 管厚</p> <p>※計算に使用する 2R、t は、測定する管材の材料                      承認等の数値による。</p>		 <p>たわみ率の計算  <math>\Delta X / 2R \times 100 (\%)</math>  <math>\Delta X =  2R - (Du + t) </math> 又は  <math> 2R - (Dh + t) </math>                      2R : 管厚中心直径 t : 管厚</p>	

共通仕様書（農林水産土木工事編）「出来形管理基準及び規格値」 新旧対照表

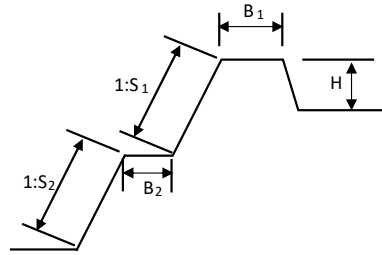
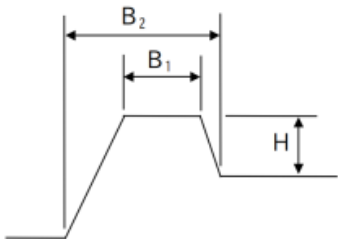
工種	新（令和 7 年 4 月 1 日）		旧（令和 6 年 4 月 1 日）	
1 水路工事 1.3 管水路（ダクタイル 鋳鉄管、強化プラスチック 複合管）	摘要	<p style="color: red;">基準高（V）の測定は管底（V1）を原則とし、測定時期は埋戻完了とする。</p> <p style="color: red;">ただし、φ1,350 mm以下又は管底での測定作業が困難な場合は、管頂まで埋戻後の管頂（V2）でもよい。</p> <p style="color: red;">中心線のずれ（e）の測定は管頂まで埋戻時の管頂を原則とする。</p> <p>たわみ率は管径 900mm 以上に適用する。矢板施工の場合は管据付時、矢板引抜き時及び埋戻完了時に測定する。</p> <p style="color: red;">なお、「埋戻完了」とは、特に指示がない場合は舗装（表層、上層路盤、下層路盤）を除いた埋戻完了時点とする。</p>	摘要	<p>たわみ率は管径 900mm 以上に適用する。矢板施工の場合は管据付時、矢板引抜き時及び埋戻完了時に測定する。</p>

共通仕様書（農林水産土木工事編）「出来形管理基準及び規格値」 新旧対照表

工種	新（令和7年4月1日）		旧（令和6年4月1日）	
1 水路工事 1 4 管水路(硬質ポリ塩化ビニル管)	工種	14 管水路（硬質ポリ塩化ビニル管）	工種	14 管水路（硬質ポリ塩化ビニル管）
	項目規格値（mm）	① 基準高（V） ±50 ② 中心線のずれ（e） ±120 ③ （略） ④ 埋設深（H） （略）	項目規格値（mm）	① 基準高（V） ±50（管径900mm未満 ±30） ② 中心線のずれ（e） ±120（管径900mm未満 ±100） ③ （略） ④ たわみ率 ±5% ⑤ 埋設深 （略）
	測定基準	基準高・中心線のずれ・埋設深については施工延長おおむね50m（測点間隔20mにあつては40m）につき1箇所割合で測定する。 上記未満は2箇所測定する。	測定基準	基準高・中心線のずれ、たわみ率については施工延長おおむね50m（測点間隔20mにあつては40m）につき1ヶ所割合で測定する。 上記未満は2ヶ所測定する。 たわみ測定は定尺管の中央部とする。測定時期は管据付時（接合完了後）、管頂埋戻時及び埋戻完了時とする。
	測定箇所		測定箇所	 <p style="text-align: center;">                         たわみ率の計算  <math display="block">\frac{\Delta X}{2R} \times 100 (\%)</math> <math display="block">\Delta X =  2R - (Du + t)  \text{ 又は }  2R - (Dh + t) </math>                         2R：管厚中心直径 t：管厚                     </p>
摘要		摘要	たわみ率は管径900mm以上に適用する。 矢板施工の場合は管据付時、矢板引抜き時及び埋戻完了時に測定する。	



共通仕様書（農林水産土木工事編）「出来形管理基準及び規格値」 新旧対照表

工種	新（令和7年4月1日）		旧（令和6年4月1日）	
1 水路工事 1.5 管体基礎工（砂基礎等）	工種	15 <u>管体基礎工（砂基礎等）</u>	工種	15 <u>管水路埋設工</u>
	測定基準	施工延長おおむね 50m（測点間隔 20m にあつては 40m）につき 1 <u>箇所</u> の割合で測定する。 上記未満は 2 <u>箇所</u> 測定する。	測定基準	<u>砂基礎に適用する。</u> 施工延長おおむね 50m（測点間隔 20m にあつては 40m）につき 1 <u>ヶ</u> 所の割合で測定する。 上記未満は 2 <u>ヶ</u> 所測定する。
2 ほ場整備工事 4 畦畔工	項目 規格値（mm）	①～②（略） ③ <u>法勾配（S）</u> <u>+2分 -1分</u> ④ <u>施工延長</u> （略）	項目 規格値（mm）	①～②（略） ③ <u>施工延長</u> （略）
	測定箇所		測定箇所	
4 客土工事	工種	<u>[削除]</u>	工種	4 <u>雑物除去</u>
	測定基準	<u>[削除]</u>	測定基準	<u>(設計図による)</u>
6 地すべり工事	工種	<u>[削除]</u>	工種	3 <u>函水路</u>
	測定基準	<u>[削除]</u>	測定基準	<u>(水路工による)</u>
6 地すべり工事 3 集水井	工種	3（略）	工種	4（略）
6 地すべり工事	工種	<u>[削除]</u>	工種	5 <u>その他の構造物</u>
	測定基準	<u>[削除]</u>	測定基準	<u>(該当区分工種による)</u>

共通仕様書（農林水産土木工事編）「出来形管理基準及び規格値」 新旧対照表

新（令和7年4月1日）				旧（令和6年4月1日）			
工 種		項 目	規 格 値（mm）	工 種		項 目	規 格 値（mm）
7 林 道	<u>4</u> <u>特</u> <u>殊</u> <u>路</u> <u>面</u> <u>工</u>	(1)コンクリート 特殊路面工	(略)	7 林 道	<u>3</u> <u>路</u> <u>盤</u> <u>構</u> <u>造</u> <u>物</u>	(1)コンクリート 特殊路面工	(略)
		(2)アスファルト 特殊路面工	(略)			(2)アスファルト 特殊路面工	(略)
	<u>5</u> . 表 層 工		(略)	<u>4</u> . 表 層 工		(略)	
	<u>6</u> . ベンチフリューム 排水フリューム 道路側溝		(略)	<u>5</u> . ベンチフリューム 排水フリューム 道路側溝		(略)	
	<u>7</u> . ウッドカーブ		(略)	<u>6</u> . ウッドカーブ		(略)	
	<u>8</u> . 胴木基礎工 (梯子土台)		(略)	<u>7</u> . 胴木基礎工 (梯子土台)		(略)	
<u>9</u> . 丸太法面工		(略)	<u>8</u> . 丸太法面工		(略)		
8 溪 間 工	8. 流路工、護岸工 (コンクリートブロック 等構造)  (コンクリート <u>擁壁等構 造</u> )  (大型フトンカゴ、フトン カゴ等構造)		(略)	8 溪 間 工	8. 流路工、護岸工 (コンクリートブロック 等構造)  (コンクリート <u>土留工</u> )  (大型フトンカゴ、フト ンカゴ等構造)		(略)

共通仕様書（農林水産土木工事編）「出来形管理基準及び規格値」 新旧対照表

新（令和7年4月1日）			旧（令和6年4月1日）		
測定基準	測定箇所	適用	測定基準	測定箇所	適用
<p>基準高、幅、高さ（又は法長）は、中心線の延長おおむね50m（測点間隔20mにあつては40m）につき1箇所割合で測定する。上記未満は2箇所測定する。</p>		<p>受口工は「8溪間工」の4.側壁を準用</p>	<p>基準高、幅、高さは、中心線の延長おおむね50m（測点間隔20mにあつては40m）につき1箇所割合で測定する。上記未満は2箇所測定する。</p>		

工種	項目	規格値（mm）	工種	項目	規格値（mm）
9 山腹留工	2 コンクリート擁壁工	(略)	9 山腹留工	2 コンクリート擁壁工	(略)
	石積・コンクリートブロック積			コンクリートブロック積	
10 保安林整備	1. 植栽工	(略)	10 保安林整備	1. 植栽工	(略)
	2. 除伐（チェーンソー伐）	(略)		2. 本数調整伐除伐（チェーンソー伐）	(略)
	3. 除伐（チェーンソー伐以外）	(略)		3. 除伐（チェーンソー伐以外）	(略)
	4. 本数調整伐	①面積 ②伐採本数		（追加）	
	5. 下刈り	(略)		4. 下刈り	(略)
	6. 生育基盤盛土工	(略)		5. 生育基盤盛土工	(略)

共通仕様書（農林水産土木工事編）「出来形管理基準及び規格値」 新旧対照表

工種	新（令和7年4月1日）		旧（令和6年4月1日）	
1 1 集落排水工事 1 管路	項目 規格値（mm） ・管理指標	（略）	項目 規格値（mm）	（略）
	測定基準	<u>基準高、中心線のずれ</u> <u>上下流マンホール管の両端部及び中間点毎に測定する。</u> <u>マンホール管の延長</u> <u>マンホール間 毎に測定する。</u> <u>総延長</u> <u>接合部毎に測定する。</u>	測定基準	<u>上下流マンホール 端部及び中間点毎</u> <u>マンホール間距離毎</u> <u>接合部毎</u>
	1. 「管理指標」とは、施工管理に用いる定性的な基準。			
	2. 「目視」とは、目で見ると、または専用治工具等（水準器を含む）を使用して目で見ること。			
	3. 「触接」とは、手で直に触れたり、揺り動かしてみる等をする。			
	4. 「照合」とは、設計図書等と照らし合わせる。			
5. 「実測」とは、測定器（スケール、トランシット、レベル等）により、測定すること。				

共通仕様書（農林水産土木工事編）「出来形管理基準及び規格値」 新旧対照表

工種	新（令和7年4月1日）		旧（令和6年4月1日）	
1 1 集落排水工事 2 マンホール (1) 全体	項目 規格値 (mm) ・管理指標	①～⑤（略） ⑥仕上り （目視、触接） ・マンホールと管の接合部、マンホール壁体の接合部及びマンホール底部から地下水等の浸入を防止できるように施工されていること。 ・滑らかな仕上がりとなっていること。	項目 規格値 (mm)	①～⑤（略） ⑥仕上り （目視、触接）
	測定基準	(略)	測定基準	(略) ・マンホールと管の接合部、マンホール壁体の接合部及びマンホール底部から地下水等の浸入を防止できるように施工されていること。 ・滑らかな仕上がりとなっていること。
1 1 集落排水工事 2 マンホール (2) インバート	項目 規格値 (mm) ・管理指標	①仕上り （目視、触接、 <u>実測</u> ） ・汚水・汚物の滞留がないように上下流管路との据付けが円滑であること。 ・逆勾配及び零勾配でないこと。 ・水路部天端幅（b1）は下流側管径（b2）以上確保されていること。	項目 規格値 (mm)	①仕上り （目視、触接）
	測定基準	(略)	測定基準	(略) ・汚水・汚物の滞留がないように上下流管路との据付けが円滑であること。 ・逆勾配及び零勾配でないこと。 ・水路部天端幅（b1）は下流側管径（b2）以上確保されていること。

共通仕様書（農林水産土木工事編）「出来形管理基準及び規格値」 新旧対照表

工種	新（令和7年4月1日）		旧（令和6年4月1日）		
1 1 集落排水工事 2 マンホール (3) 蓋	項目 規格値（mm） ・管理指標	①仕上り （目視、 <u>触接</u> ）	・路面との段差がなく、かつ、滑らかに据付けられていること。 ・マンホール蓋からの雨水等の浸入が防止できるように施工されていること。	項目 規格値（mm）	①仕上り （目視 _____）
	測定基準	(略)		測定基準	(略) ・路面との段差がなく、かつ、滑らかに据付けられていること。 ・雨水等の浸入が防止できるように施工されていること
1 1 集落排水工事 2 マンホール (4) 足掛金具	項目 規格値（mm） ・管理指標	①取付け （触接）	・正確かつ堅固に取付けてあること。	項目 規格値（mm）	①取付け （触接）
	測定基準	(略)		測定基準	(略) ・正確かつ堅固に取付けてあること。

共通仕様書（農林水産土木工事編）「出来形管理基準及び規格値」 新旧対照表

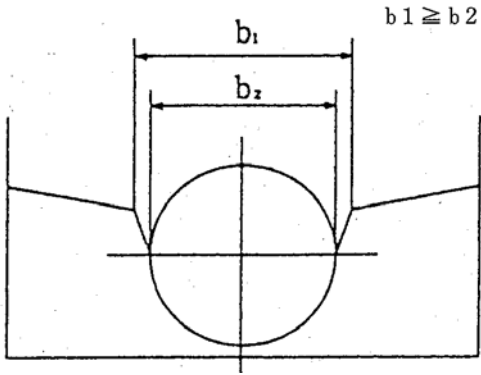
工種	新（令和7年4月1日）		旧（令和6年4月1日）	
1 1 集落排水工事 3 取付管	項目 規格値（mm） ・管理指標	① 基準高（V） ±30 ・本管取付部については本管取付管の管底が本管の中心線より上方であること。 ② 勾配（実測） ・逆勾配及び零勾配でないこと。 ③ 接合部（目視、触接） 接合部 ・管と管との接合部及び支管部からの地下水等の浸入を防止できるように施工されていること。 せん孔部 ・本管せん孔面にばりや切欠き等のないこと。 支管 ・支管は本管に十分圧着されていること。	項目 規格値（mm）	① 基準高（V） ±30 ② 勾配（実測） ③ 接合部（目視）
	測定基準	(略)	測定基準	(略) ・本管取付部については本管取付管の管底が本管の中心線より上方であること。 (略) ・逆勾配及び零勾配でないこと。 (略) ・管と管との接合部及び支管部からの地下水等の浸入を防止できるように施工されていること。 (略) ・本管せん孔面にばりや切欠き等のないこと。 (略) ・支管は本管に十分圧着されていること。

共通仕様書（農林水産土木工事編）「出来形管理基準及び規格値」 新旧対照表

工種	新（令和7年4月1日）		旧（令和6年4月1日）	
1 1 集落排水工事 4 公共ます (1) 全体	項目 規格値 (mm) ・管理指標	①～⑤（略） ⑥仕上り ・公共ますと管の接合部、ます壁体の接合部及びます底部から地下水等の浸入を防止できるように施工されていること。 ・滑らかな仕上がりとなっていること。	項目 規格値 (mm)	①～⑤（略） 仕上り
	測定基準	公共ます毎	測定基準	
1 1 集落排水工事 4 公共ます (2) インバート	項目 規格値 (mm) ・管理指標	①仕上り （目視、触接、実測） ・汚水・汚物の滞留がないように上下流管路との据付けが円滑であること。 ・逆勾配及び零勾配でないこと。 ・水路部天端幅（b1）は下流側管径（b2）以上確保されていること。	項目 規格値 (mm)	①仕上り （目視、触接）
	測定基準	(略)	測定基準	(略) ・公共ますと管の接合部、ます壁体の接合部及びます底部から地下水等の浸入を防止できるように施工されていること。 ・滑らかな仕上がりとなっていること



共通仕様書（農林水産土木工事編）「出来形管理基準及び規格値」 新旧対照表

工種	新（令和 7 年 4 月 1 日）		旧（令和 6 年 4 月 1 日）	
1 1 集落排水工事 4 公共ます (3) 蓋	項目 規格値 (mm) ・管理指標	①仕上り (目視、 <u>触接</u> ) ・雨水等の浸入が防止できるように施工されていること。 ・路面に設置する場合には、路面に段差がなく、かつ、滑らかに据付けられていること。	項目 規格値 (mm)	①仕上り (目視 _____)
	測定基準	(略)	測定基準	(略) ・雨水等の浸入が防止できるように施工されていること。 ・路面に設置する場合には、路面に段差がなく、かつ、滑らかに据付けられていること。
	測定箇所		測定箇所	

共通仕様書（農林水産土木工事編）「出来形管理基準及び規格値」 新旧対照表

工種	新（令和7年4月1日）		旧（令和6年4月1日）	
1 1 集落排水工事 5 中継ポンプ施設 (1) 全体	項目 規格値 (mm) ・管理指標	①～⑤（略） ⑥仕上り （目視、触接） ・ポンプますと管の接合部、ポンプ ます壁体の接合部及びポンプます底 部から汚水等の漏水、地下水の浸入 を防止できるように施工されている こと。 ・防水仕上げ等の場合にあつては、 ムラなく均一に仕上げられているこ と。 ・仕上がりが滑らかであること。 ・路面に設置する場合には、路面に 段差がなく、かつ、滑らかに据付け られていること。また、雨水等の浸 入が防止できるように施工されてい ること。	項目 規格値 (mm)	①～⑤（略） 仕上り （目視、触接）
	測定基準		測定基準	・ポンプますと管の接合部、ポンプます壁体の接 合部及びポンプます底部から汚水等の漏水、地下 水の浸入を防止できるように施工されているこ と。 ・防水仕上げ等の場合にあつては、ムラなく均一 に仕上げられていること。 ・仕上がりが滑らかであること。 ・路面に設置する場合には、路面に段差がなく、 かつ、滑らかに据付けられていること。 また、雨水等の浸入が防止できるように施工さ れていること。

共通仕様書（農林水産土木工事編）「出来形管理基準及び規格値」 新旧対照表

工種	新（令和7年4月1日）			旧（令和6年4月1日）		
1 1 集落排水工事 5 中継ポンプ施設 (2) ポンプ設備	項目 規格値 (mm) ・管理指標	① 据付状況 (照合)	・設計図書等に示す位置に堅固に据付られていること。	項目 規格値 (mm)	据付状況 (照合)	
	測定基準	(略)		測定基準	(略) ・設計図書等に示す位置に堅固に据付られていること。	
1 1 集落排水工事 5 中継ポンプ施設 (3) 圧送管	項目 規格値 (mm) ・管理指標	①～② (略) ③ 管接合部 (目視、触接)	・管接合部から汚水の漏水がないように確かかつ、正確に接合されていること。	項目 規格値 (mm)	①～② (略) ③ 管接合部 (目視、触接)	
	測定基準	管接合部 毎		測定基準	管接合部 ____ ・管接合部から汚水の漏水がないように確かかつ、正確に接合されていること。	
1 1 集落排水工事 5 中継ポンプ施設 (4) 電気計装施設	項目 規格値 (mm) ・管理指標	① 据付状況 (照合)	・設計図書等に示す位置に堅固に据付られていること。	項目 規格値 (mm)	据付状況 (照合)	
	測定基準	(略)		測定基準	(略) ・設計図書等に示す位置に堅固に据付られていること。	
1 1 集落排水工事 5 中継ポンプ施設 (5) 作動試験	項目 規格値 (mm) ・管理指標	① 作動状況 (目視、触接)	・作動時に異常が見られないこと。	項目 規格値 (mm)	作動状況 (目視、触接)	
	測定基準	(略)		測定基準	(略) ・作動時に異常が見られないこと。	

共通仕様書（農林水産土木工事編）「出来形管理基準及び規格値」 新旧対照表

工種	新（令和7年4月1日）		旧（令和6年4月1日）	
1 1 集落排水工事 6 汚水処理施設	項目 規格値（mm） ・管理指標	①総合性 ・ <u>汚水処理施設は、処理フローシートに合成し、設計思想に基づく機能が確保されていること。</u> ・ <u>汚水処理施設全体として精度、合理性が確保されていること。</u> ・ <u>管路施設との整合性が保たれていること。</u>	項目 規格値（mm）	①総合性
	測定基準		測定基準	・ <u>汚水処理施設は、処理フローシートに合成し、設計思想に基づく機能が確保されていること。</u> ・ <u>汚水処理施設全体として精度、合理性が確保されていること。</u> ・ <u>管路施設との整合性が保たれていること。</u>

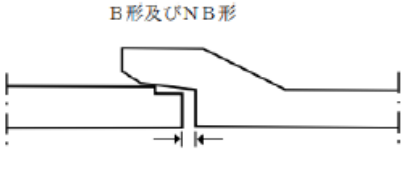
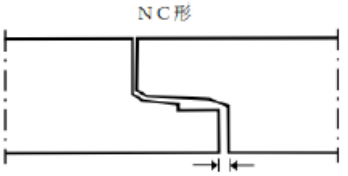
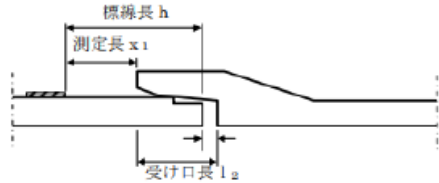
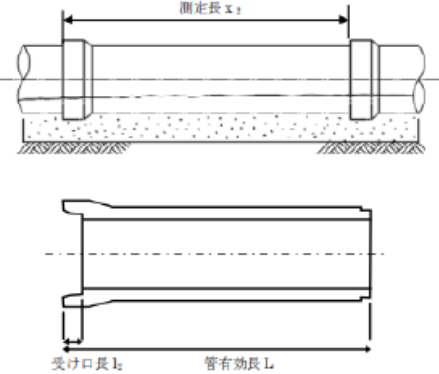
共通仕様書（農林水産土木工事編）「出来形管理基準及び規格値」 新旧対照表

工種	新（令和7年4月1日）		旧（令和6年4月1日）	
1 1 集落排水工事 8 コンクリート構造物（ホッパー部含む）	工種	8 コンクリート構造物 <u>（ホッパー部含む）</u>	工種	8 コンクリート構造物 _____
	項目 規格値（mm） ・管理指標	①～⑤（略） ⑥仕上り （目視、触接、 <u>実測</u> ） <u>水路全体（砂溜槽含む）</u> ・汚水、汚物の滞留部がないこと。 ・コーナー部に隅切り等が施されていること。 ・逆勾配及び零勾配でないこと。 <u>水槽及び水路</u> ・各接合部の止水が十分施工されていること。 ・防水仕上げ等の場合にあってはムラなく均一に仕上げられていること。 ・仕上がりが滑らかであること。特にホッパー部にあっては留意すること。 <u>こと。</u>	項目 規格値（mm）	①～⑤（略） 仕上り _____ _____ _____ _____ _____ _____ _____ _____ _____ _____
	測定基準	（略） _____ _____ _____ <u>水路全体</u> _____ <u>水槽及び水路毎</u> _____ _____ _____	測定基準	（略） // ・各接合部の止水が十分施工されていること。 ・防水仕上げ等の場合にあってはムラなく均一に仕上げられていること。 <u>水槽及び水路毎</u> ・仕上がりが滑らかであること。 <u>水路全体</u> ・汚水、汚物の滞留部がないこと。 ・コーナー部に隅切り等が施されていること。 ・逆勾配及び零勾配でないこと。 <u>こと。</u>

共通仕様書（農林水産土木工事編）「出来形管理基準及び規格値」 新旧対照表

項目	新（令和7年4月1日）	旧（令和6年4月1日）																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
別表ア	<p>別表ア 管水路（遠心力鉄筋コンクリート管）のジョイント間隔規格値 <span style="float:right">(単位：mm)</span></p> <table border="1" data-bbox="450 405 1144 1002"> <thead> <tr> <th rowspan="3">呼び径 (mm)</th> <th colspan="4">JIS A 5372 RC 管</th> </tr> <tr> <th colspan="2">B 形管</th> <th rowspan="2">NB 形管</th> <th rowspan="2">NC 形管</th> </tr> <tr> <th>良質地盤</th> <th>軟弱地盤</th> <th>標準値 (参考)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>150</td><td>+20 ~ 0</td><td>+11 ~ 0</td><td>+23 ~ 0</td><td></td></tr> <tr><td>200</td><td>+20 ~ 0</td><td>+11 ~ 0</td><td>+23 ~ 0</td><td></td></tr> <tr><td>250</td><td>+20 ~ 0</td><td>+11 ~ 0</td><td>+23 ~ 0</td><td></td></tr> <tr><td>300</td><td>+18 ~ 0</td><td>+10 ~ 0</td><td>+23 ~ 0</td><td></td></tr> <tr><td>350</td><td>+18 ~ 0</td><td>+10 ~ 0</td><td>+23 ~ 0</td><td></td></tr> <tr><td>400</td><td>+21 ~ 0</td><td>+11 ~ 0</td><td>+29 ~ 0</td><td></td></tr> <tr><td>450</td><td>+21 ~ 0</td><td>+11 ~ 0</td><td>+29 ~ 0</td><td></td></tr> <tr><td>500</td><td>+21 ~ 0</td><td>+11 ~ 0</td><td>+29 ~ 0</td><td></td></tr> <tr><td>600</td><td>+23 ~ 0</td><td>+13 ~ 0</td><td>+29 ~ 0</td><td></td></tr> <tr><td>700</td><td>+21 ~ 0</td><td>+12 ~ 0</td><td>+29 ~ 0</td><td></td></tr> <tr><td>800</td><td>+24 ~ 0</td><td>+13 ~ 0</td><td>+29 ~ 0</td><td></td></tr> <tr><td>900</td><td>+26 ~ 0</td><td>+15 ~ 0</td><td>+29 ~ 0</td><td></td></tr> <tr><td>1,000</td><td>+32 ~ 0</td><td>+18 ~ 0</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1,100</td><td>+33 ~ 0</td><td>+19 ~ 0</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1,200</td><td>+35 ~ 0</td><td>+21 ~ 0</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1,350</td><td>+37 ~ 0</td><td>+22 ~ 0</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1,500</td><td></td><td></td><td>+33 ~ +5</td><td>5</td></tr> <tr><td>1,650</td><td></td><td></td><td>+33 ~ +5</td><td>5</td></tr> <tr><td>1,800</td><td></td><td></td><td>+33 ~ +5</td><td>5</td></tr> <tr><td>2,000</td><td></td><td></td><td>+33 ~ +5</td><td>5</td></tr> <tr><td>2,200</td><td></td><td></td><td>+33 ~ +5</td><td>5</td></tr> <tr><td>2,400</td><td></td><td></td><td>+38 ~ +5</td><td>5</td></tr> <tr><td>2,600</td><td></td><td></td><td>+38 ~ +5</td><td>5</td></tr> <tr><td>2,800</td><td></td><td></td><td>+38 ~ +5</td><td>5</td></tr> <tr><td>3,000</td><td></td><td></td><td>+38 ~ +5</td><td>5</td></tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 規格値は埋戻後の値であり、原則として4箇所のうち1箇所でもこの値を超えてはならない。                  2. 接合時の測定は、原則として管の内から測定するものとする。ただし、呼び径 700 mm 以下の場合、管の外から確認してもよい。また、埋戻後の測定は、原則として呼び径 800 mm 以上に適用する。                  なお、「埋戻後」とは、特に指示のない限り、舗装（表層、上層路盤、下層路盤）を除いた埋戻完了時点とする。                  3. 標準値は目地処理のため施工上必要な、本来開くべきジョイント間隔値を示している。規格値は次頁の図に示す位置を測定するものとする。                  4. 管の外側から測定する場合の測定箇所は、以下に示す a'b'c'd' とする。</p> <div data-bbox="779 1225 1025 1362" style="text-align: center;"> <p>測定箇所</p> </div>	呼び径 (mm)	JIS A 5372 RC 管				B 形管		NB 形管	NC 形管	良質地盤	軟弱地盤	標準値 (参考)	150	+20 ~ 0	+11 ~ 0	+23 ~ 0		200	+20 ~ 0	+11 ~ 0	+23 ~ 0		250	+20 ~ 0	+11 ~ 0	+23 ~ 0		300	+18 ~ 0	+10 ~ 0	+23 ~ 0		350	+18 ~ 0	+10 ~ 0	+23 ~ 0		400	+21 ~ 0	+11 ~ 0	+29 ~ 0		450	+21 ~ 0	+11 ~ 0	+29 ~ 0		500	+21 ~ 0	+11 ~ 0	+29 ~ 0		600	+23 ~ 0	+13 ~ 0	+29 ~ 0		700	+21 ~ 0	+12 ~ 0	+29 ~ 0		800	+24 ~ 0	+13 ~ 0	+29 ~ 0		900	+26 ~ 0	+15 ~ 0	+29 ~ 0		1,000	+32 ~ 0	+18 ~ 0			1,100	+33 ~ 0	+19 ~ 0			1,200	+35 ~ 0	+21 ~ 0			1,350	+37 ~ 0	+22 ~ 0			1,500			+33 ~ +5	5	1,650			+33 ~ +5	5	1,800			+33 ~ +5	5	2,000			+33 ~ +5	5	2,200			+33 ~ +5	5	2,400			+38 ~ +5	5	2,600			+38 ~ +5	5	2,800			+38 ~ +5	5	3,000			+38 ~ +5	5	<p>別表ア 管水路（遠心力鉄筋コンクリート管）のジョイント間隔規格値 <span style="float:right">(単位：mm)</span></p> <table border="1" data-bbox="1317 379 2123 1264"> <thead> <tr> <th rowspan="3">呼び径(mm)</th> <th rowspan="3">標準値</th> <th colspan="4">JIS A5372 RC 管</th> </tr> <tr> <th colspan="2">規 格 値</th> <th colspan="2">値</th> </tr> <tr> <th colspan="2">良 質 地 盤</th> <th colspan="2">軟 弱 地 盤</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>150</td><td>6</td><td>+ 10</td><td>- 6</td><td>+ 5</td><td>- 6</td></tr> <tr><td>200</td><td>6</td><td>+ 10</td><td>- 6</td><td>+ 5</td><td>- 6</td></tr> <tr><td>250</td><td>6</td><td>+ 10</td><td>- 6</td><td>+ 5</td><td>- 6</td></tr> <tr><td>300</td><td>6</td><td>+ 9</td><td>- 6</td><td>+ 4</td><td>- 6</td></tr> <tr><td>350</td><td>6</td><td>+ 9</td><td>- 6</td><td>+ 4</td><td>- 6</td></tr> <tr><td>400</td><td>8</td><td>+ 9</td><td>- 8</td><td>+ 3</td><td>- 8</td></tr> <tr><td>450</td><td>8</td><td>+ 9</td><td>- 8</td><td>+ 3</td><td>- 8</td></tr> <tr><td>500</td><td>8</td><td>+ 9</td><td>- 8</td><td>+ 3</td><td>- 8</td></tr> <tr><td>600</td><td>8</td><td>+ 12</td><td>- 8</td><td>+ 5</td><td>- 8</td></tr> <tr><td>700</td><td>8</td><td>+ 10</td><td>- 8</td><td>+ 4</td><td>- 8</td></tr> <tr><td>800</td><td>8</td><td>+ 12</td><td>- 8</td><td>+ 5</td><td>- 8</td></tr> <tr><td>900</td><td>8</td><td>+ 15</td><td>- 8</td><td>+ 7</td><td>- 8</td></tr> <tr><td>1,000</td><td>10</td><td>+ 18</td><td>- 10</td><td>+ 8</td><td>- 10</td></tr> <tr><td>1,100</td><td>10</td><td>+ 19</td><td>- 10</td><td>+ 9</td><td>- 10</td></tr> <tr><td>1,200</td><td>10</td><td>+ 21</td><td>- 10</td><td>+ 11</td><td>- 10</td></tr> <tr><td>1,350</td><td>10</td><td>+ 23</td><td>- 10</td><td>+ 12</td><td>- 10</td></tr> <tr><td>1,500</td><td>8</td><td>+ 15</td><td>- 8</td><td>+ 7</td><td>- 8</td></tr> <tr><td>1,650</td><td>8</td><td>+ 15</td><td>- 8</td><td>+ 7</td><td>- 8</td></tr> <tr><td>1,800</td><td>8</td><td>+ 15</td><td>- 8</td><td>+ 7</td><td>- 8</td></tr> <tr><td>2,000</td><td>8</td><td>+ 15</td><td>- 8</td><td>+ 7</td><td>- 8</td></tr> <tr><td>2,200</td><td>8</td><td>+ 15</td><td>- 8</td><td>+ 7</td><td>- 8</td></tr> <tr><td>2,400</td><td>10</td><td>+ 15</td><td>- 10</td><td>+ 7</td><td>- 10</td></tr> <tr><td>2,600</td><td>10</td><td>+ 15</td><td>- 10</td><td>+ 7</td><td>- 10</td></tr> <tr><td>2,800</td><td>10</td><td>+ 15</td><td>- 10</td><td>+ 7</td><td>- 10</td></tr> <tr><td>3,000</td><td>10</td><td>+ 15</td><td>- 10</td><td>+ 7</td><td>- 10</td></tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 規格値は、埋戻後の値であり、原則として4箇所のうち1箇所でもこの値を超えてはならない。                  2. 接合時の測定は、原則として呼び径 700mm 以下の場合、管の外から確認してもよい。また、埋戻後の測定は、原則として呼び径 700mm 以下の測定は必要ない。</p>	呼び径(mm)	標準値	JIS A5372 RC 管				規 格 値		値		良 質 地 盤		軟 弱 地 盤		150	6	+ 10	- 6	+ 5	- 6	200	6	+ 10	- 6	+ 5	- 6	250	6	+ 10	- 6	+ 5	- 6	300	6	+ 9	- 6	+ 4	- 6	350	6	+ 9	- 6	+ 4	- 6	400	8	+ 9	- 8	+ 3	- 8	450	8	+ 9	- 8	+ 3	- 8	500	8	+ 9	- 8	+ 3	- 8	600	8	+ 12	- 8	+ 5	- 8	700	8	+ 10	- 8	+ 4	- 8	800	8	+ 12	- 8	+ 5	- 8	900	8	+ 15	- 8	+ 7	- 8	1,000	10	+ 18	- 10	+ 8	- 10	1,100	10	+ 19	- 10	+ 9	- 10	1,200	10	+ 21	- 10	+ 11	- 10	1,350	10	+ 23	- 10	+ 12	- 10	1,500	8	+ 15	- 8	+ 7	- 8	1,650	8	+ 15	- 8	+ 7	- 8	1,800	8	+ 15	- 8	+ 7	- 8	2,000	8	+ 15	- 8	+ 7	- 8	2,200	8	+ 15	- 8	+ 7	- 8	2,400	10	+ 15	- 10	+ 7	- 10	2,600	10	+ 15	- 10	+ 7	- 10	2,800	10	+ 15	- 10	+ 7	- 10	3,000	10	+ 15	- 10	+ 7	- 10
	呼び径 (mm)		JIS A 5372 RC 管																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
B 形管			NB 形管	NC 形管																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
良質地盤		軟弱地盤			標準値 (参考)																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
150	+20 ~ 0	+11 ~ 0	+23 ~ 0																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
200	+20 ~ 0	+11 ~ 0	+23 ~ 0																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
250	+20 ~ 0	+11 ~ 0	+23 ~ 0																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
300	+18 ~ 0	+10 ~ 0	+23 ~ 0																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
350	+18 ~ 0	+10 ~ 0	+23 ~ 0																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
400	+21 ~ 0	+11 ~ 0	+29 ~ 0																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
450	+21 ~ 0	+11 ~ 0	+29 ~ 0																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
500	+21 ~ 0	+11 ~ 0	+29 ~ 0																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
600	+23 ~ 0	+13 ~ 0	+29 ~ 0																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
700	+21 ~ 0	+12 ~ 0	+29 ~ 0																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
800	+24 ~ 0	+13 ~ 0	+29 ~ 0																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
900	+26 ~ 0	+15 ~ 0	+29 ~ 0																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
1,000	+32 ~ 0	+18 ~ 0																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
1,100	+33 ~ 0	+19 ~ 0																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
1,200	+35 ~ 0	+21 ~ 0																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
1,350	+37 ~ 0	+22 ~ 0																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
1,500			+33 ~ +5	5																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
1,650			+33 ~ +5	5																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
1,800			+33 ~ +5	5																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
2,000			+33 ~ +5	5																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
2,200			+33 ~ +5	5																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
2,400			+38 ~ +5	5																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
2,600			+38 ~ +5	5																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
2,800			+38 ~ +5	5																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
3,000			+38 ~ +5	5																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
呼び径(mm)	標準値	JIS A5372 RC 管																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		規 格 値		値																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		良 質 地 盤		軟 弱 地 盤																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
150	6	+ 10	- 6	+ 5	- 6																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
200	6	+ 10	- 6	+ 5	- 6																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
250	6	+ 10	- 6	+ 5	- 6																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
300	6	+ 9	- 6	+ 4	- 6																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
350	6	+ 9	- 6	+ 4	- 6																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
400	8	+ 9	- 8	+ 3	- 8																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
450	8	+ 9	- 8	+ 3	- 8																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
500	8	+ 9	- 8	+ 3	- 8																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
600	8	+ 12	- 8	+ 5	- 8																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
700	8	+ 10	- 8	+ 4	- 8																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
800	8	+ 12	- 8	+ 5	- 8																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
900	8	+ 15	- 8	+ 7	- 8																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
1,000	10	+ 18	- 10	+ 8	- 10																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
1,100	10	+ 19	- 10	+ 9	- 10																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
1,200	10	+ 21	- 10	+ 11	- 10																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
1,350	10	+ 23	- 10	+ 12	- 10																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
1,500	8	+ 15	- 8	+ 7	- 8																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
1,650	8	+ 15	- 8	+ 7	- 8																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
1,800	8	+ 15	- 8	+ 7	- 8																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
2,000	8	+ 15	- 8	+ 7	- 8																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
2,200	8	+ 15	- 8	+ 7	- 8																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
2,400	10	+ 15	- 10	+ 7	- 10																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
2,600	10	+ 15	- 10	+ 7	- 10																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
2,800	10	+ 15	- 10	+ 7	- 10																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
3,000	10	+ 15	- 10	+ 7	- 10																																																																																																																																																																																																																																																																																																										

共通仕様書（農林水産土木工事編）「出来形管理基準及び規格値」 新旧対照表

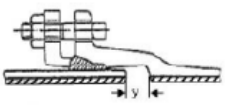
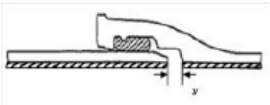
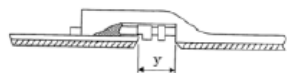
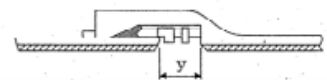
項目	新（令和 7 年 4 月 1 日）	旧（令和 6 年 4 月 1 日）
別表ア	<p>&lt;参考&gt;ジョイント間隔測定位置を以下に示す。</p> <p>(1) 内面から計測する場合</p> <p>B形及びNB形  NC形 </p> <p>(2) 外面から計測する場合</p> <p>1) 標線による計測          ジョイント間隔 = 受け口長 <math>l_2</math> - (標線長 <math>h</math> - 測定長 <math>X_1</math>)</p>  <p>2) 標線によらない計測（参考）          ジョイント間隔 = 受け口長 <math>l_2</math> - (管有効長 <math>L</math> - 測定長 <math>X_2</math>)</p> 	

共通仕様書（農林水産土木工事編）「出来形管理基準及び規格値」 新旧対照表

項目	新（令和7年4月1日）	旧（令和6年4月1日）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
別表イ	<p>別表イ 管水路（ダクタイル鋳鉄管）のジョイント間隔規格値 <span style="float:right">(単位：mm)</span></p> <table border="1" data-bbox="452 405 1126 1066"> <thead> <tr> <th rowspan="3">呼び径 (mm)</th> <th colspan="2">JIS G 5526・5527 及び J D P A G 1027</th> <th colspan="2">JIS G 5526・5527 及び J D P A G 1027・1029</th> <th colspan="2">JIS G 5526・5527 及び J D P A G 1029</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">K 形</th> <th rowspan="2">T 形 (直管)</th> <th rowspan="2">T 形 (異形管)</th> <th colspan="2">U 形</th> </tr> <tr> <th colspan="2">標準値(参考)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>75</td><td>+19 ~ 0</td><td>+16 ~ 0</td><td>+16 ~ 0</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>100</td><td>+19 ~ 0</td><td>+16 ~ 0</td><td>+17 ~ 0</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>150</td><td>+19 ~ 0</td><td>+16 ~ 0</td><td>+18 ~ 0</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>200</td><td>+19 ~ 0</td><td>+14 ~ 0</td><td>+16 ~ 0</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>250</td><td>+19 ~ 0</td><td>+14 ~ 0</td><td>+14 ~ 0</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>300</td><td>+19 ~ 0</td><td>+24 ~ 0</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>350</td><td>+31 ~ 0</td><td>+24 ~ 0</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>400</td><td>+31 ~ 0</td><td>+24 ~ 0</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>450</td><td>+31 ~ 0</td><td>+24 ~ 0</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>500</td><td>+31 ~ 0</td><td>+30 ~ 0</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>600</td><td>+31 ~ 0</td><td>+30 ~ 0</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>700</td><td>+31 ~ 0</td><td>+30 ~ 0</td><td></td><td>+32 ~ -5</td><td>105</td><td></td></tr> <tr><td>800</td><td>+31 ~ 0</td><td>+30 ~ 0</td><td></td><td>+32 ~ -5</td><td>105</td><td></td></tr> <tr><td>900</td><td>+31 ~ 0</td><td>+40 ~ 0</td><td></td><td>+32 ~ -5</td><td>105</td><td></td></tr> <tr><td>1,000</td><td>+36 ~ 0</td><td>+40 ~ 0</td><td></td><td>+33 ~ -5</td><td>105</td><td></td></tr> <tr><td>1,100</td><td>+36 ~ 0</td><td>+40 ~ 0</td><td></td><td>+33 ~ -5</td><td>105</td><td></td></tr> <tr><td>1,200</td><td>+36 ~ 0</td><td>+50 ~ 0</td><td></td><td>+33 ~ -5</td><td>105</td><td></td></tr> <tr><td>1,350</td><td>+36 ~ 0</td><td>+50 ~ 0</td><td></td><td>+35 ~ -5</td><td>105</td><td></td></tr> <tr><td>1,500</td><td>+36 ~ 0</td><td>+60 ~ 0</td><td></td><td>+35 ~ -5</td><td>105</td><td></td></tr> <tr><td>1,600</td><td>+40 ~ 0</td><td>+70 ~ 0</td><td></td><td>+33 ~ -5</td><td>115</td><td></td></tr> <tr><td>1,650</td><td>+45 ~ 0</td><td>+70 ~ 0</td><td></td><td>+33 ~ -5</td><td>115</td><td></td></tr> <tr><td>1,800</td><td>+45 ~ 0</td><td>+80 ~ 0</td><td></td><td>+33 ~ -5</td><td>115</td><td></td></tr> <tr><td>2,000</td><td>+50 ~ 0</td><td>+90 ~ 0</td><td></td><td>+36 ~ -5</td><td>115</td><td></td></tr> <tr><td>2,100</td><td>+55 ~ 0</td><td></td><td></td><td>+36 ~ -5</td><td>115</td><td></td></tr> <tr><td>2,200</td><td>+55 ~ 0</td><td></td><td></td><td>+36 ~ -5</td><td>115</td><td></td></tr> <tr><td>2,400</td><td>+60 ~ 0</td><td></td><td></td><td>+36 ~ -5</td><td>115</td><td></td></tr> <tr><td>2,600</td><td>+70 ~ 0</td><td></td><td></td><td>+36 ~ -5</td><td>130</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 規格値は埋戻後の値であり、原則として4箇所のうち1箇所でもこの値を超えてはならない。                  2. 接合時の測定は、原則として管の内から測定するものとする。ただし、呼び径 700mm 以下の場合、管の外から確認してもよい。また、埋戻後の測定は、原則として呼び径 800mm 以上に適用する。                  なお、「埋戻後」とは、特に指示がない限り、舗装（表層、上層路盤、下層路盤）を除いた埋戻完了時点とする。                  3. 管の外側から測定する場合の測定箇所は、以下に示す a' b' c' d' とする。</p> <div data-bbox="779 1236 1019 1369" style="text-align: center;"> <p>測定箇所</p> </div>	呼び径 (mm)	JIS G 5526・5527 及び J D P A G 1027		JIS G 5526・5527 及び J D P A G 1027・1029		JIS G 5526・5527 及び J D P A G 1029		K 形	T 形 (直管)	T 形 (異形管)	U 形		標準値(参考)		75	+19 ~ 0	+16 ~ 0	+16 ~ 0				100	+19 ~ 0	+16 ~ 0	+17 ~ 0				150	+19 ~ 0	+16 ~ 0	+18 ~ 0				200	+19 ~ 0	+14 ~ 0	+16 ~ 0				250	+19 ~ 0	+14 ~ 0	+14 ~ 0				300	+19 ~ 0	+24 ~ 0					350	+31 ~ 0	+24 ~ 0					400	+31 ~ 0	+24 ~ 0					450	+31 ~ 0	+24 ~ 0					500	+31 ~ 0	+30 ~ 0					600	+31 ~ 0	+30 ~ 0					700	+31 ~ 0	+30 ~ 0		+32 ~ -5	105		800	+31 ~ 0	+30 ~ 0		+32 ~ -5	105		900	+31 ~ 0	+40 ~ 0		+32 ~ -5	105		1,000	+36 ~ 0	+40 ~ 0		+33 ~ -5	105		1,100	+36 ~ 0	+40 ~ 0		+33 ~ -5	105		1,200	+36 ~ 0	+50 ~ 0		+33 ~ -5	105		1,350	+36 ~ 0	+50 ~ 0		+35 ~ -5	105		1,500	+36 ~ 0	+60 ~ 0		+35 ~ -5	105		1,600	+40 ~ 0	+70 ~ 0		+33 ~ -5	115		1,650	+45 ~ 0	+70 ~ 0		+33 ~ -5	115		1,800	+45 ~ 0	+80 ~ 0		+33 ~ -5	115		2,000	+50 ~ 0	+90 ~ 0		+36 ~ -5	115		2,100	+55 ~ 0			+36 ~ -5	115		2,200	+55 ~ 0			+36 ~ -5	115		2,400	+60 ~ 0			+36 ~ -5	115		2,600	+70 ~ 0			+36 ~ -5	130		<p>別表イ① 管水路（ダクタイル鋳鉄管）ジョイント間隔規格値 <span style="float:right">(単位：mm)</span></p> <table border="1" data-bbox="1361 379 2072 1209"> <thead> <tr> <th rowspan="2">規格</th> <th colspan="2">J D P A</th> <th colspan="2">JIS G 55626 及び J D P A</th> </tr> <tr> <th colspan="2">A 形</th> <th colspan="2">K 形</th> </tr> <tr> <th>呼び径 (mm)</th> <th colspan="2">規格値</th> <th colspan="2">規格値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>75</td><td>+19</td><td>0</td><td>+19</td><td>0</td></tr> <tr><td>100</td><td>+19</td><td>0</td><td>+19</td><td>0</td></tr> <tr><td>150</td><td>+19</td><td>0</td><td>+19</td><td>0</td></tr> <tr><td>200</td><td>+19</td><td>0</td><td>+19</td><td>0</td></tr> <tr><td>250</td><td>+19</td><td>0</td><td>+19</td><td>0</td></tr> <tr><td>300</td><td>+19</td><td>0</td><td>+19</td><td>0</td></tr> <tr><td>350</td><td>+31</td><td>0</td><td>+31</td><td>0</td></tr> <tr><td>400</td><td>-</td><td>-</td><td>+31</td><td>0</td></tr> <tr><td>450</td><td>-</td><td>-</td><td>+31</td><td>0</td></tr> <tr><td>500</td><td>-</td><td>-</td><td>+31</td><td>0</td></tr> <tr><td>600</td><td>-</td><td>-</td><td>+31</td><td>0</td></tr> <tr><td>700</td><td>-</td><td>-</td><td>+31</td><td>0</td></tr> <tr><td>800</td><td>-</td><td>-</td><td>+31</td><td>0</td></tr> <tr><td>900</td><td>-</td><td>-</td><td>+31</td><td>0</td></tr> <tr><td>1,000</td><td>-</td><td>-</td><td>+36</td><td>0</td></tr> <tr><td>1,100</td><td>-</td><td>-</td><td>+36</td><td>0</td></tr> <tr><td>1,200</td><td>-</td><td>-</td><td>+36</td><td>0</td></tr> <tr><td>1,350</td><td>-</td><td>-</td><td>+36</td><td>0</td></tr> <tr><td>1,500</td><td>-</td><td>-</td><td>+36</td><td>0</td></tr> <tr><td>1,600</td><td>-</td><td>-</td><td>+40</td><td>0</td></tr> <tr><td>1,650</td><td>-</td><td>-</td><td>+45</td><td>0</td></tr> <tr><td>1,800</td><td>-</td><td>-</td><td>+45</td><td>0</td></tr> <tr><td>2,000</td><td>-</td><td>-</td><td>+50</td><td>0</td></tr> <tr><td>2,100</td><td>-</td><td>-</td><td>+55</td><td>0</td></tr> <tr><td>2,200</td><td>-</td><td>-</td><td>+55</td><td>0</td></tr> <tr><td>2,400</td><td>-</td><td>-</td><td>+60</td><td>0</td></tr> <tr><td>2,600</td><td>-</td><td>-</td><td>+70</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 規格値は、埋戻後の値であり、原則として4箇所のうち1箇所でもこの値を超えてはならない。                  2. 接合時の測定は、原則として呼び径 700mm 以下の場合、管の外から確認してもよい。また、埋戻後の測定は、原則として呼び径 700mm 以下の測定は必要ない。                  なお「埋戻後」とは特に指示がない限り、舗装（表層、上層・下層路盤）を除いた埋戻完了時点とする。</p>	規格	J D P A		JIS G 55626 及び J D P A		A 形		K 形		呼び径 (mm)	規格値		規格値		75	+19	0	+19	0	100	+19	0	+19	0	150	+19	0	+19	0	200	+19	0	+19	0	250	+19	0	+19	0	300	+19	0	+19	0	350	+31	0	+31	0	400	-	-	+31	0	450	-	-	+31	0	500	-	-	+31	0	600	-	-	+31	0	700	-	-	+31	0	800	-	-	+31	0	900	-	-	+31	0	1,000	-	-	+36	0	1,100	-	-	+36	0	1,200	-	-	+36	0	1,350	-	-	+36	0	1,500	-	-	+36	0	1,600	-	-	+40	0	1,650	-	-	+45	0	1,800	-	-	+45	0	2,000	-	-	+50	0	2,100	-	-	+55	0	2,200	-	-	+55	0	2,400	-	-	+60	0	2,600	-	-	+70	0
	呼び径 (mm)		JIS G 5526・5527 及び J D P A G 1027		JIS G 5526・5527 及び J D P A G 1027・1029		JIS G 5526・5527 及び J D P A G 1029																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
K 形			T 形 (直管)	T 形 (異形管)	U 形																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		標準値(参考)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
75	+19 ~ 0	+16 ~ 0	+16 ~ 0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
100	+19 ~ 0	+16 ~ 0	+17 ~ 0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
150	+19 ~ 0	+16 ~ 0	+18 ~ 0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
200	+19 ~ 0	+14 ~ 0	+16 ~ 0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
250	+19 ~ 0	+14 ~ 0	+14 ~ 0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
300	+19 ~ 0	+24 ~ 0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
350	+31 ~ 0	+24 ~ 0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
400	+31 ~ 0	+24 ~ 0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
450	+31 ~ 0	+24 ~ 0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
500	+31 ~ 0	+30 ~ 0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
600	+31 ~ 0	+30 ~ 0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
700	+31 ~ 0	+30 ~ 0		+32 ~ -5	105																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
800	+31 ~ 0	+30 ~ 0		+32 ~ -5	105																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
900	+31 ~ 0	+40 ~ 0		+32 ~ -5	105																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
1,000	+36 ~ 0	+40 ~ 0		+33 ~ -5	105																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
1,100	+36 ~ 0	+40 ~ 0		+33 ~ -5	105																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
1,200	+36 ~ 0	+50 ~ 0		+33 ~ -5	105																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
1,350	+36 ~ 0	+50 ~ 0		+35 ~ -5	105																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
1,500	+36 ~ 0	+60 ~ 0		+35 ~ -5	105																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
1,600	+40 ~ 0	+70 ~ 0		+33 ~ -5	115																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
1,650	+45 ~ 0	+70 ~ 0		+33 ~ -5	115																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
1,800	+45 ~ 0	+80 ~ 0		+33 ~ -5	115																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
2,000	+50 ~ 0	+90 ~ 0		+36 ~ -5	115																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
2,100	+55 ~ 0			+36 ~ -5	115																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
2,200	+55 ~ 0			+36 ~ -5	115																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
2,400	+60 ~ 0			+36 ~ -5	115																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
2,600	+70 ~ 0			+36 ~ -5	130																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
規格	J D P A		JIS G 55626 及び J D P A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	A 形		K 形																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
呼び径 (mm)	規格値		規格値																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
75	+19	0	+19	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
100	+19	0	+19	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
150	+19	0	+19	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
200	+19	0	+19	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
250	+19	0	+19	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
300	+19	0	+19	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
350	+31	0	+31	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
400	-	-	+31	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
450	-	-	+31	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
500	-	-	+31	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
600	-	-	+31	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
700	-	-	+31	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
800	-	-	+31	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
900	-	-	+31	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
1,000	-	-	+36	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
1,100	-	-	+36	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
1,200	-	-	+36	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
1,350	-	-	+36	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
1,500	-	-	+36	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
1,600	-	-	+40	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
1,650	-	-	+45	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
1,800	-	-	+45	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
2,000	-	-	+50	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
2,100	-	-	+55	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
2,200	-	-	+55	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
2,400	-	-	+60	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
2,600	-	-	+70	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														



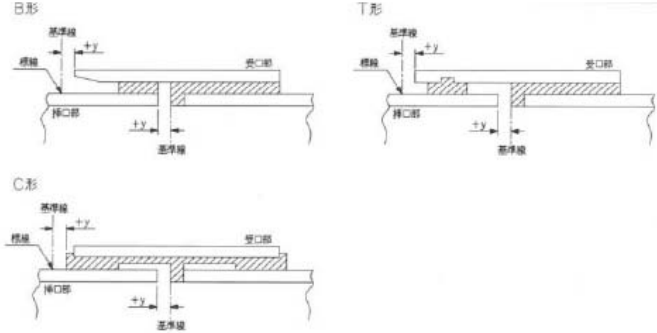
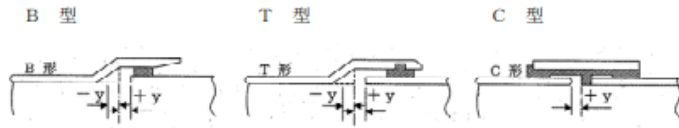
共通仕様書（農林水産土木工事編）「出来形管理基準及び規格値」 新旧対照表

項目	新（令和7年4月1日）	旧（令和6年4月1日）																																																																																																																						
別表イ	<p>4. ダクタイル鋳鉄管のうち、K形管・T形管のジョイント間隔測定位置及びU形管の標準値は下図のy寸法である。yの測定位置は、鋳鉄層とモルタルライニング層の境界部を目安とする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>K形管</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>T形管</p>  </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>U形管</p>  </div> <p>5. JDPAG 1027（農業用水用ダクタイル鋳鉄管）の呼び径は以下のとおり。          ・T形及びT形用継ぎ輪：300～2,000、K形：300～2,600          JDPAG 1029（推進工法用ダクタイル鋳鉄管）の呼び径は以下のとおり。          ・T形：250～700、U形：800～2,600          JDPAG 1027（農業用水用ダクタイル鋳鉄管）のT形用継ぎ輪のジョイント間隔は、JIS G 5527（ダクタイル鋳鉄異形管）のK形に準じる。          6. JIS G 5527（ダクタイル鋳鉄異形管）のK形、U形のジョイント間隔は、JIS G 5526（ダクタイル鋳鉄管）のK形、U形に準じる。          7. 標準値は継手構造上、本来開くべきジョイント間隔値を示しており、規格値は標準値に対する値を示している。</p>	<p>別表イ-② 管水路（ダクタイル鋳鉄管）ジョイント間隔規格値（単位：mm）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">呼び径（mm）</th> <th colspan="2">JIS G5526 及び JDPAG1029</th> <th>JIS G5526 及び JDPAG1027,1029</th> </tr> <tr> <th colspan="2">U形</th> <th>T形</th> </tr> <tr> <th>標準値</th> <th>規格値</th> <th>規格値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>75</td><td>—</td><td>—</td><td>+16 0</td></tr> <tr><td>100</td><td>—</td><td>—</td><td>+16 0</td></tr> <tr><td>150</td><td>—</td><td>—</td><td>+16 0</td></tr> <tr><td>200</td><td>—</td><td>—</td><td>+14 0</td></tr> <tr><td>250</td><td>—</td><td>—</td><td>+14 0</td></tr> <tr><td>300</td><td>—</td><td>—</td><td>+24 0</td></tr> <tr><td>350</td><td>—</td><td>—</td><td>+24 0</td></tr> <tr><td>400</td><td>—</td><td>—</td><td>+24 0</td></tr> <tr><td>450</td><td>—</td><td>—</td><td>+24 0</td></tr> <tr><td>500</td><td>—</td><td>—</td><td>+30 0</td></tr> <tr><td>600</td><td>—</td><td>—</td><td>+30 0</td></tr> <tr><td>700</td><td>105</td><td>+35 -5</td><td>+30 0</td></tr> <tr><td>800</td><td>105</td><td>+35 -5</td><td>+30 0</td></tr> <tr><td>900</td><td>105</td><td>+35 -5</td><td>+40 0</td></tr> <tr><td>1,000</td><td>105</td><td>+35 -5</td><td>+40 0</td></tr> <tr><td>1,100</td><td>105</td><td>+35 -5</td><td>+40 0</td></tr> <tr><td>1,200</td><td>105</td><td>+35 -5</td><td>+50 0</td></tr> <tr><td>1,350</td><td>105</td><td>+35 -5</td><td>+50 0</td></tr> <tr><td>1,500</td><td>105</td><td>+35 -5</td><td>+60 0</td></tr> <tr><td>1,600</td><td>115</td><td>+36 -5</td><td>+70 0</td></tr> <tr><td>1,650</td><td>115</td><td>+36 -5</td><td>+70 0</td></tr> <tr><td>1,800</td><td>115</td><td>+36 -5</td><td>+80 0</td></tr> <tr><td>2,000</td><td>115</td><td>+36 -5</td><td>+90 0</td></tr> <tr><td>2,100</td><td>115</td><td>+36 -5</td><td>—</td></tr> <tr><td>2,200</td><td>115</td><td>+36 -5</td><td>—</td></tr> <tr><td>2,400</td><td>115</td><td>+36 -5</td><td>—</td></tr> <tr><td>2,600</td><td>130</td><td>+36 -5</td><td>—</td></tr> </tbody> </table> <p>注) ダクタイル鋳鉄管のうちU形管の標準値は下図のY寸法である。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>	呼び径（mm）	JIS G5526 及び JDPAG1029		JIS G5526 及び JDPAG1027,1029	U形		T形	標準値	規格値	規格値	75	—	—	+16 0	100	—	—	+16 0	150	—	—	+16 0	200	—	—	+14 0	250	—	—	+14 0	300	—	—	+24 0	350	—	—	+24 0	400	—	—	+24 0	450	—	—	+24 0	500	—	—	+30 0	600	—	—	+30 0	700	105	+35 -5	+30 0	800	105	+35 -5	+30 0	900	105	+35 -5	+40 0	1,000	105	+35 -5	+40 0	1,100	105	+35 -5	+40 0	1,200	105	+35 -5	+50 0	1,350	105	+35 -5	+50 0	1,500	105	+35 -5	+60 0	1,600	115	+36 -5	+70 0	1,650	115	+36 -5	+70 0	1,800	115	+36 -5	+80 0	2,000	115	+36 -5	+90 0	2,100	115	+36 -5	—	2,200	115	+36 -5	—	2,400	115	+36 -5	—	2,600	130	+36 -5	—
	呼び径（mm）	JIS G5526 及び JDPAG1029		JIS G5526 及び JDPAG1027,1029																																																																																																																				
U形		T形																																																																																																																						
標準値		規格値	規格値																																																																																																																					
75	—	—	+16 0																																																																																																																					
100	—	—	+16 0																																																																																																																					
150	—	—	+16 0																																																																																																																					
200	—	—	+14 0																																																																																																																					
250	—	—	+14 0																																																																																																																					
300	—	—	+24 0																																																																																																																					
350	—	—	+24 0																																																																																																																					
400	—	—	+24 0																																																																																																																					
450	—	—	+24 0																																																																																																																					
500	—	—	+30 0																																																																																																																					
600	—	—	+30 0																																																																																																																					
700	105	+35 -5	+30 0																																																																																																																					
800	105	+35 -5	+30 0																																																																																																																					
900	105	+35 -5	+40 0																																																																																																																					
1,000	105	+35 -5	+40 0																																																																																																																					
1,100	105	+35 -5	+40 0																																																																																																																					
1,200	105	+35 -5	+50 0																																																																																																																					
1,350	105	+35 -5	+50 0																																																																																																																					
1,500	105	+35 -5	+60 0																																																																																																																					
1,600	115	+36 -5	+70 0																																																																																																																					
1,650	115	+36 -5	+70 0																																																																																																																					
1,800	115	+36 -5	+80 0																																																																																																																					
2,000	115	+36 -5	+90 0																																																																																																																					
2,100	115	+36 -5	—																																																																																																																					
2,200	115	+36 -5	—																																																																																																																					
2,400	115	+36 -5	—																																																																																																																					
2,600	130	+36 -5	—																																																																																																																					


共通仕様書（農林水産土木工事編）「出来形管理基準及び規格値」 新旧対照表

項目	新（令和7年4月1日）	旧（令和6年4月1日）																																																																																																																																																																																																																			
別表ウ	<p>別表ウ 管水路（プラスチック複合管）のジョイント間隔規格値（単位：mm）</p> <table border="1" data-bbox="459 405 1153 957"> <thead> <tr> <th rowspan="3">呼び径 (mm)</th> <th colspan="3">JIS A 5350</th> </tr> <tr> <th colspan="3">B形・C形・T形</th> </tr> <tr> <th>良質地盤</th> <th>軟弱地盤</th> <th>標準値（参考）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>200</td><td>+33 ~ 0</td><td>+22 ~ 0</td><td>0</td></tr> <tr><td>250</td><td>+33 ~ 0</td><td>+22 ~ 0</td><td>0</td></tr> <tr><td>300</td><td>+38 ~ 0</td><td>+25 ~ 0</td><td>0</td></tr> <tr><td>350</td><td>+38 ~ 0</td><td>+25 ~ 0</td><td>0</td></tr> <tr><td>400</td><td>+43 ~ 0</td><td>+28 ~ 0</td><td>0</td></tr> <tr><td>450</td><td>+43 ~ 0</td><td>+28 ~ 0</td><td>0</td></tr> <tr><td>500</td><td>+53 ~ 0</td><td>+35 ~ 0</td><td>0</td></tr> <tr><td>600</td><td>+53 ~ 0</td><td>+35 ~ 0</td><td>0</td></tr> <tr><td>700</td><td>+53 ~ 0</td><td>+35 ~ 0</td><td>0</td></tr> <tr><td>800</td><td>+53 ~ 0</td><td>+35 ~ 0</td><td>0</td></tr> <tr><td>900</td><td>+53 ~ 0</td><td>+35 ~ 0</td><td>0</td></tr> <tr><td>1,000</td><td>+53 ~ 0</td><td>+35 ~ 0</td><td>0</td></tr> <tr><td>1,100</td><td>+53 ~ 0</td><td>+35 ~ 0</td><td>0</td></tr> <tr><td>1,200</td><td>+53 ~ 0</td><td>+35 ~ 0</td><td>0</td></tr> <tr><td>1,350</td><td>+53 ~ 0</td><td>+35 ~ 0</td><td>0</td></tr> <tr><td>1,500</td><td>+53 ~ 0</td><td>+35 ~ 0</td><td>0</td></tr> <tr><td>1,650</td><td>+80 ~ 0</td><td>+53 ~ 0</td><td>0</td></tr> <tr><td>1,800</td><td>+80 ~ 0</td><td>+53 ~ 0</td><td>0</td></tr> <tr><td>2,000</td><td>+95 ~ 0</td><td>+63 ~ 0</td><td>0</td></tr> <tr><td>2,200</td><td>+95 ~ 0</td><td>+63 ~ 0</td><td>0</td></tr> <tr><td>2,400</td><td>+113 ~ 0</td><td>+75 ~ 0</td><td>0</td></tr> <tr><td>2,600</td><td>+113 ~ 0</td><td>+75 ~ 0</td><td>0</td></tr> <tr><td>2,800</td><td>+128 ~ 0</td><td>+85 ~ 0</td><td>0</td></tr> <tr><td>3,000</td><td>+128 ~ 0</td><td>+85 ~ 0</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 規格値は埋戻後の値であり、原則として4箇所のうち1箇所でもこの値を超えてはならない。</p> <p>2. 測定は、原則として管の内から測定するものとする。ただし、呼び径700mm以下の場合、管の外から測定してもよい。また、埋戻後の測定は、原則として呼び径800mm以上に適用する。 なお、「埋戻後」とは、特に指示がない限り、舗装（表層、上層路盤、下層路盤）を除いた埋戻完了時点とする。</p> <p>3. 管の外面から測定する場合の測定箇所は、以下に示すa' b' c' d'とする。</p> <div data-bbox="795 1125 1041 1268" style="text-align: center;"> <p>測定箇所</p> </div> <p>4. 継手部の標準断面は次ページのとおりであり、標準値は図の寸法yである。なお、基準線に対し抜け出し側を(+)とする。</p> <p>5. 測定値は、受口部長さの製品誤差によりマイナスとなる場合がある。</p>	呼び径 (mm)	JIS A 5350			B形・C形・T形			良質地盤	軟弱地盤	標準値（参考）	200	+33 ~ 0	+22 ~ 0	0	250	+33 ~ 0	+22 ~ 0	0	300	+38 ~ 0	+25 ~ 0	0	350	+38 ~ 0	+25 ~ 0	0	400	+43 ~ 0	+28 ~ 0	0	450	+43 ~ 0	+28 ~ 0	0	500	+53 ~ 0	+35 ~ 0	0	600	+53 ~ 0	+35 ~ 0	0	700	+53 ~ 0	+35 ~ 0	0	800	+53 ~ 0	+35 ~ 0	0	900	+53 ~ 0	+35 ~ 0	0	1,000	+53 ~ 0	+35 ~ 0	0	1,100	+53 ~ 0	+35 ~ 0	0	1,200	+53 ~ 0	+35 ~ 0	0	1,350	+53 ~ 0	+35 ~ 0	0	1,500	+53 ~ 0	+35 ~ 0	0	1,650	+80 ~ 0	+53 ~ 0	0	1,800	+80 ~ 0	+53 ~ 0	0	2,000	+95 ~ 0	+63 ~ 0	0	2,200	+95 ~ 0	+63 ~ 0	0	2,400	+113 ~ 0	+75 ~ 0	0	2,600	+113 ~ 0	+75 ~ 0	0	2,800	+128 ~ 0	+85 ~ 0	0	3,000	+128 ~ 0	+85 ~ 0	0	<p>別表ウー① 管水路（強化プラスチック複合管）ジョイント間隔管理基準値（単位：mm）</p> <table border="1" data-bbox="1355 375 2083 1173"> <thead> <tr> <th rowspan="3">呼び径 (mm)</th> <th colspan="3">JIS A5350</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">標準値</th> <th colspan="2">B形及びT形</th> </tr> <tr> <th>良質地盤</th> <th>軟弱地盤</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>200</td><td>0</td><td>+33 - 33 (0)</td><td>+22 - 22 (0)</td></tr> <tr><td>250</td><td>0</td><td>+33 - 33 (0)</td><td>+22 - 22 (0)</td></tr> <tr><td>300</td><td>0</td><td>+38 - 38 (0)</td><td>+25 - 25 (0)</td></tr> <tr><td>350</td><td>0</td><td>+38 - 38 (0)</td><td>+25 - 25 (0)</td></tr> <tr><td>400</td><td>0</td><td>+43 - 43 (0)</td><td>+28 - 28 (0)</td></tr> <tr><td>450</td><td>0</td><td>+43 - 43 (0)</td><td>+28 - 28 (0)</td></tr> <tr><td>500</td><td>0</td><td>+53 - 53 (0)</td><td>+35 - 34 (0)</td></tr> <tr><td>600</td><td>0</td><td>+53 - 53 (0)</td><td>+35 - 34 (0)</td></tr> <tr><td>700</td><td>0</td><td>+53 - 52 (0)</td><td>+35 - 34 (0)</td></tr> <tr><td>800</td><td>0</td><td>+53 - 52 (0)</td><td>+35 - 34 (0)</td></tr> <tr><td>900</td><td>0</td><td>+53 - 52 (0)</td><td>+35 - 34 (0)</td></tr> <tr><td>1,000</td><td>0</td><td>+53 - 51 (0)</td><td>+35 - 33 (0)</td></tr> <tr><td>1,100</td><td>0</td><td>+53 - 51 (0)</td><td>+35 - 33 (0)</td></tr> <tr><td>1,200</td><td>0</td><td>+53 - 51 (0)</td><td>+35 - 33 (0)</td></tr> <tr><td>1,350</td><td>0</td><td>+53 - 51 (0)</td><td>+35 - 33 (0)</td></tr> <tr><td>1,500</td><td>0</td><td>+53 - 51 (0)</td><td>+35 - 33 (0)</td></tr> <tr><td>1,650</td><td>0</td><td>+80 - 77 (0)</td><td>+53 - 50 (0)</td></tr> <tr><td>1,800</td><td>0</td><td>+80 - 77 (0)</td><td>+53 - 50 (0)</td></tr> <tr><td>2,000</td><td>0</td><td>+95 - 92 (0)</td><td>+63 - 60 (0)</td></tr> <tr><td>2,200</td><td>0</td><td>+95 - 92 (0)</td><td>+63 - 60 (0)</td></tr> <tr><td>2,400</td><td>0</td><td>+113 - 110 (0)</td><td>+75 - 72 (0)</td></tr> <tr><td>2,600</td><td>0</td><td>+113 - 110 (0)</td><td>+75 - 72 (0)</td></tr> <tr><td>2,800</td><td>0</td><td>+128 - 125 (0)</td><td>+85 - 82 (0)</td></tr> <tr><td>3,000</td><td>0</td><td>+128 - 125 (0)</td><td>+85 - 82 (0)</td></tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 管理基準値は接合の値であり、4箇所の平均値とする。</p> <p>2. 規格値は埋戻後の値であり、原則として4箇所のうち1箇所でもこの値を超えてはならない。</p> <p>3. 接合時の測定は原則として呼び径700mm以下の場合、管の外から確認してもよい。また、埋戻後の測定は、原則として呼び径700mm以下の測定は必要ない。</p> <p>4. 継ぎ手部の標準断面は次ページのとおり、標準値は、Yの寸法である。なお、管理基準値等のうち( )内数値は、点線で示した形状の管に適用する。</p>	呼び径 (mm)	JIS A5350			標準値	B形及びT形		良質地盤	軟弱地盤	200	0	+33 - 33 (0)	+22 - 22 (0)	250	0	+33 - 33 (0)	+22 - 22 (0)	300	0	+38 - 38 (0)	+25 - 25 (0)	350	0	+38 - 38 (0)	+25 - 25 (0)	400	0	+43 - 43 (0)	+28 - 28 (0)	450	0	+43 - 43 (0)	+28 - 28 (0)	500	0	+53 - 53 (0)	+35 - 34 (0)	600	0	+53 - 53 (0)	+35 - 34 (0)	700	0	+53 - 52 (0)	+35 - 34 (0)	800	0	+53 - 52 (0)	+35 - 34 (0)	900	0	+53 - 52 (0)	+35 - 34 (0)	1,000	0	+53 - 51 (0)	+35 - 33 (0)	1,100	0	+53 - 51 (0)	+35 - 33 (0)	1,200	0	+53 - 51 (0)	+35 - 33 (0)	1,350	0	+53 - 51 (0)	+35 - 33 (0)	1,500	0	+53 - 51 (0)	+35 - 33 (0)	1,650	0	+80 - 77 (0)	+53 - 50 (0)	1,800	0	+80 - 77 (0)	+53 - 50 (0)	2,000	0	+95 - 92 (0)	+63 - 60 (0)	2,200	0	+95 - 92 (0)	+63 - 60 (0)	2,400	0	+113 - 110 (0)	+75 - 72 (0)	2,600	0	+113 - 110 (0)	+75 - 72 (0)	2,800	0	+128 - 125 (0)	+85 - 82 (0)	3,000	0	+128 - 125 (0)	+85 - 82 (0)
	呼び径 (mm)		JIS A 5350																																																																																																																																																																																																																		
B形・C形・T形																																																																																																																																																																																																																					
良質地盤		軟弱地盤	標準値（参考）																																																																																																																																																																																																																		
200	+33 ~ 0	+22 ~ 0	0																																																																																																																																																																																																																		
250	+33 ~ 0	+22 ~ 0	0																																																																																																																																																																																																																		
300	+38 ~ 0	+25 ~ 0	0																																																																																																																																																																																																																		
350	+38 ~ 0	+25 ~ 0	0																																																																																																																																																																																																																		
400	+43 ~ 0	+28 ~ 0	0																																																																																																																																																																																																																		
450	+43 ~ 0	+28 ~ 0	0																																																																																																																																																																																																																		
500	+53 ~ 0	+35 ~ 0	0																																																																																																																																																																																																																		
600	+53 ~ 0	+35 ~ 0	0																																																																																																																																																																																																																		
700	+53 ~ 0	+35 ~ 0	0																																																																																																																																																																																																																		
800	+53 ~ 0	+35 ~ 0	0																																																																																																																																																																																																																		
900	+53 ~ 0	+35 ~ 0	0																																																																																																																																																																																																																		
1,000	+53 ~ 0	+35 ~ 0	0																																																																																																																																																																																																																		
1,100	+53 ~ 0	+35 ~ 0	0																																																																																																																																																																																																																		
1,200	+53 ~ 0	+35 ~ 0	0																																																																																																																																																																																																																		
1,350	+53 ~ 0	+35 ~ 0	0																																																																																																																																																																																																																		
1,500	+53 ~ 0	+35 ~ 0	0																																																																																																																																																																																																																		
1,650	+80 ~ 0	+53 ~ 0	0																																																																																																																																																																																																																		
1,800	+80 ~ 0	+53 ~ 0	0																																																																																																																																																																																																																		
2,000	+95 ~ 0	+63 ~ 0	0																																																																																																																																																																																																																		
2,200	+95 ~ 0	+63 ~ 0	0																																																																																																																																																																																																																		
2,400	+113 ~ 0	+75 ~ 0	0																																																																																																																																																																																																																		
2,600	+113 ~ 0	+75 ~ 0	0																																																																																																																																																																																																																		
2,800	+128 ~ 0	+85 ~ 0	0																																																																																																																																																																																																																		
3,000	+128 ~ 0	+85 ~ 0	0																																																																																																																																																																																																																		
呼び径 (mm)	JIS A5350																																																																																																																																																																																																																				
	標準値	B形及びT形																																																																																																																																																																																																																			
		良質地盤	軟弱地盤																																																																																																																																																																																																																		
200	0	+33 - 33 (0)	+22 - 22 (0)																																																																																																																																																																																																																		
250	0	+33 - 33 (0)	+22 - 22 (0)																																																																																																																																																																																																																		
300	0	+38 - 38 (0)	+25 - 25 (0)																																																																																																																																																																																																																		
350	0	+38 - 38 (0)	+25 - 25 (0)																																																																																																																																																																																																																		
400	0	+43 - 43 (0)	+28 - 28 (0)																																																																																																																																																																																																																		
450	0	+43 - 43 (0)	+28 - 28 (0)																																																																																																																																																																																																																		
500	0	+53 - 53 (0)	+35 - 34 (0)																																																																																																																																																																																																																		
600	0	+53 - 53 (0)	+35 - 34 (0)																																																																																																																																																																																																																		
700	0	+53 - 52 (0)	+35 - 34 (0)																																																																																																																																																																																																																		
800	0	+53 - 52 (0)	+35 - 34 (0)																																																																																																																																																																																																																		
900	0	+53 - 52 (0)	+35 - 34 (0)																																																																																																																																																																																																																		
1,000	0	+53 - 51 (0)	+35 - 33 (0)																																																																																																																																																																																																																		
1,100	0	+53 - 51 (0)	+35 - 33 (0)																																																																																																																																																																																																																		
1,200	0	+53 - 51 (0)	+35 - 33 (0)																																																																																																																																																																																																																		
1,350	0	+53 - 51 (0)	+35 - 33 (0)																																																																																																																																																																																																																		
1,500	0	+53 - 51 (0)	+35 - 33 (0)																																																																																																																																																																																																																		
1,650	0	+80 - 77 (0)	+53 - 50 (0)																																																																																																																																																																																																																		
1,800	0	+80 - 77 (0)	+53 - 50 (0)																																																																																																																																																																																																																		
2,000	0	+95 - 92 (0)	+63 - 60 (0)																																																																																																																																																																																																																		
2,200	0	+95 - 92 (0)	+63 - 60 (0)																																																																																																																																																																																																																		
2,400	0	+113 - 110 (0)	+75 - 72 (0)																																																																																																																																																																																																																		
2,600	0	+113 - 110 (0)	+75 - 72 (0)																																																																																																																																																																																																																		
2,800	0	+128 - 125 (0)	+85 - 82 (0)																																																																																																																																																																																																																		
3,000	0	+128 - 125 (0)	+85 - 82 (0)																																																																																																																																																																																																																		

共通仕様書（農林水産土木工事編）「出来形管理基準及び規格値」 新旧対照表

項目	新（令和 7 年 4 月 1 日）	旧（令和 6 年 4 月 1 日）																																																																																																									
別表ウ		<p>別表ウ-② 管水路(強化プラスチック複合管)ジョイント間隔管理基準値 (単位: mm)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">呼び径 (mm)</th> <th colspan="3">JIS A5350</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">標準値</th> <th colspan="2">C 形</th> </tr> <tr> <th>良質地盤</th> <th>軟弱地盤</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>200</td><td>0</td><td>+ 33 0</td><td>+ 22 0</td></tr> <tr><td>250</td><td>0</td><td>+ 33 0</td><td>+ 22 0</td></tr> <tr><td>300</td><td>0</td><td>+ 38 0</td><td>+ 25 0</td></tr> <tr><td>350</td><td>0</td><td>+ 38 0</td><td>+ 25 0</td></tr> <tr><td>400</td><td>0</td><td>+ 43 0</td><td>+ 28 0</td></tr> <tr><td>450</td><td>0</td><td>+ 43 0</td><td>+ 28 0</td></tr> <tr><td>500</td><td>0</td><td>+ 53 0</td><td>+ 35 0</td></tr> <tr><td>600</td><td>0</td><td>+ 53 0</td><td>+ 35 0</td></tr> <tr><td>700</td><td>0</td><td>+ 53 0</td><td>+ 35 0</td></tr> <tr><td>800</td><td>0</td><td>+ 53 0</td><td>+ 35 0</td></tr> <tr><td>900</td><td>0</td><td>+ 53 0</td><td>+ 35 0</td></tr> <tr><td>1,000</td><td>0</td><td>+ 53 0</td><td>+ 35 0</td></tr> <tr><td>1,100</td><td>0</td><td>+ 53 0</td><td>+ 35 0</td></tr> <tr><td>1,200</td><td>0</td><td>+ 53 0</td><td>+ 35 0</td></tr> <tr><td>1,350</td><td>0</td><td>+ 53 0</td><td>+ 35 0</td></tr> <tr><td>1,500</td><td>0</td><td>+ 53 0</td><td>+ 35 0</td></tr> <tr><td>1,650</td><td>0</td><td>+ 80 0</td><td>+ 53 0</td></tr> <tr><td>1,800</td><td>0</td><td>+ 80 0</td><td>+ 53 0</td></tr> <tr><td>2,000</td><td>0</td><td>+ 95 0</td><td>+ 63 0</td></tr> <tr><td>2,200</td><td>0</td><td>+ 95 0</td><td>+ 63 0</td></tr> <tr><td>2,400</td><td>0</td><td>+ 113 0</td><td>+ 75 0</td></tr> <tr><td>2,600</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>2,800</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>3,000</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </tbody> </table> 	呼び径 (mm)	JIS A5350			標準値	C 形		良質地盤	軟弱地盤	200	0	+ 33 0	+ 22 0	250	0	+ 33 0	+ 22 0	300	0	+ 38 0	+ 25 0	350	0	+ 38 0	+ 25 0	400	0	+ 43 0	+ 28 0	450	0	+ 43 0	+ 28 0	500	0	+ 53 0	+ 35 0	600	0	+ 53 0	+ 35 0	700	0	+ 53 0	+ 35 0	800	0	+ 53 0	+ 35 0	900	0	+ 53 0	+ 35 0	1,000	0	+ 53 0	+ 35 0	1,100	0	+ 53 0	+ 35 0	1,200	0	+ 53 0	+ 35 0	1,350	0	+ 53 0	+ 35 0	1,500	0	+ 53 0	+ 35 0	1,650	0	+ 80 0	+ 53 0	1,800	0	+ 80 0	+ 53 0	2,000	0	+ 95 0	+ 63 0	2,200	0	+ 95 0	+ 63 0	2,400	0	+ 113 0	+ 75 0	2,600	-	-	-	2,800	-	-	-	3,000	-	-	-
呼び径 (mm)	JIS A5350																																																																																																										
	標準値	C 形																																																																																																									
		良質地盤	軟弱地盤																																																																																																								
200	0	+ 33 0	+ 22 0																																																																																																								
250	0	+ 33 0	+ 22 0																																																																																																								
300	0	+ 38 0	+ 25 0																																																																																																								
350	0	+ 38 0	+ 25 0																																																																																																								
400	0	+ 43 0	+ 28 0																																																																																																								
450	0	+ 43 0	+ 28 0																																																																																																								
500	0	+ 53 0	+ 35 0																																																																																																								
600	0	+ 53 0	+ 35 0																																																																																																								
700	0	+ 53 0	+ 35 0																																																																																																								
800	0	+ 53 0	+ 35 0																																																																																																								
900	0	+ 53 0	+ 35 0																																																																																																								
1,000	0	+ 53 0	+ 35 0																																																																																																								
1,100	0	+ 53 0	+ 35 0																																																																																																								
1,200	0	+ 53 0	+ 35 0																																																																																																								
1,350	0	+ 53 0	+ 35 0																																																																																																								
1,500	0	+ 53 0	+ 35 0																																																																																																								
1,650	0	+ 80 0	+ 53 0																																																																																																								
1,800	0	+ 80 0	+ 53 0																																																																																																								
2,000	0	+ 95 0	+ 63 0																																																																																																								
2,200	0	+ 95 0	+ 63 0																																																																																																								
2,400	0	+ 113 0	+ 75 0																																																																																																								
2,600	-	-	-																																																																																																								
2,800	-	-	-																																																																																																								
3,000	-	-	-																																																																																																								

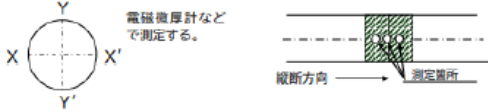
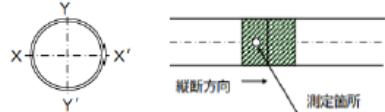
共通仕様書（農林水産土木工事編）「出来形管理基準及び規格値」 新旧対照表

項目	新（令和 7 年 4 月 1 日）	旧（令和 6 年 4 月 1 日）																																																																																																																									
別表エ	<p><u>[削除]</u></p>	<p>別表エ 管水路（強化プラスチック複合管）ジョイント間隔管理基準値 （単位：mm）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3" style="text-align: center;">呼び径 (mm)</th> <th colspan="4" style="text-align: center;">J I S A 5 3 5 0</th> </tr> <tr> <th rowspan="2" style="text-align: center;">標 準 値</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">規 格 値</th> <th rowspan="2" style="text-align: center;">軟 弱 地 盤</th> </tr> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">D 形</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th style="text-align: center;">良 質 地 盤</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>200</td><td>0</td><td style="text-align: center;">+ 25 - 3</td><td></td><td style="text-align: center;">+ 15 - 3</td></tr> <tr><td>250</td><td>0</td><td style="text-align: center;">+ 25 - 3</td><td></td><td style="text-align: center;">+ 15 - 3</td></tr> <tr><td>300</td><td>0</td><td style="text-align: center;">+ 25 - 3</td><td></td><td style="text-align: center;">+ 15 - 3</td></tr> <tr><td>350</td><td>0</td><td style="text-align: center;">+ 25 - 3</td><td></td><td style="text-align: center;">+ 15 - 3</td></tr> <tr><td>400</td><td>0</td><td style="text-align: center;">+ 35 - 3</td><td></td><td style="text-align: center;">+ 25 - 3</td></tr> <tr><td>450</td><td>0</td><td style="text-align: center;">+ 35 - 3</td><td></td><td style="text-align: center;">+ 25 - 3</td></tr> <tr><td>500</td><td>0</td><td style="text-align: center;">+ 35 - 3</td><td></td><td style="text-align: center;">+ 25 - 3</td></tr> <tr><td>600</td><td>0</td><td style="text-align: center;">+ 35 - 3</td><td></td><td style="text-align: center;">+ 25 - 3</td></tr> <tr><td>700</td><td>0</td><td style="text-align: center;">+ 35 - 3</td><td></td><td style="text-align: center;">+ 25 - 3</td></tr> <tr><td>800</td><td>0</td><td style="text-align: center;">+ 40 - 5</td><td></td><td style="text-align: center;">+ 30 - 5</td></tr> <tr><td>900</td><td>0</td><td style="text-align: center;">+ 40 - 5</td><td></td><td style="text-align: center;">+ 30 - 5</td></tr> <tr><td>1,000</td><td>0</td><td style="text-align: center;">+ 40 - 5</td><td></td><td style="text-align: center;">+ 30 - 5</td></tr> <tr><td>1,100</td><td>0</td><td style="text-align: center;">+ 40 - 5</td><td></td><td style="text-align: center;">+ 30 - 5</td></tr> <tr><td>1,200</td><td>0</td><td style="text-align: center;">+ 40 - 5</td><td></td><td style="text-align: center;">+ 30 - 5</td></tr> <tr><td>1,350</td><td>0</td><td style="text-align: center;">+ 40 - 5</td><td></td><td style="text-align: center;">+ 30 - 5</td></tr> <tr><td>1,500</td><td>0</td><td style="text-align: center;">+ 45 - 5</td><td></td><td style="text-align: center;">+ 35 - 5</td></tr> <tr><td>1,650</td><td>0</td><td style="text-align: center;">+ 45 - 5</td><td></td><td style="text-align: center;">+ 35 - 5</td></tr> <tr><td>1,800</td><td>0</td><td style="text-align: center;">+ 45 - 5</td><td></td><td style="text-align: center;">+ 35 - 5</td></tr> <tr><td>2,000</td><td>0</td><td style="text-align: center;">+ 45 - 5</td><td></td><td style="text-align: center;">+ 35 - 5</td></tr> <tr><td>2,200</td><td>0</td><td style="text-align: center;">+ 50 - 5</td><td></td><td style="text-align: center;">+ 40 - 5</td></tr> <tr><td>2,400</td><td>0</td><td style="text-align: center;">+ 50 - 5</td><td></td><td style="text-align: center;">+ 40 - 5</td></tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 10px;">D 型</p>  <p>The diagram shows a cross-section of a pipe joint. It features a central gasket and two pipe sections. Dimension lines indicate the joint gap: '+y' for the gap on the left and right sides, and '-y' for the gap on the top and bottom sides.</p>	呼び径 (mm)	J I S A 5 3 5 0				標 準 値	規 格 値		軟 弱 地 盤	D 形				良 質 地 盤			200	0	+ 25 - 3		+ 15 - 3	250	0	+ 25 - 3		+ 15 - 3	300	0	+ 25 - 3		+ 15 - 3	350	0	+ 25 - 3		+ 15 - 3	400	0	+ 35 - 3		+ 25 - 3	450	0	+ 35 - 3		+ 25 - 3	500	0	+ 35 - 3		+ 25 - 3	600	0	+ 35 - 3		+ 25 - 3	700	0	+ 35 - 3		+ 25 - 3	800	0	+ 40 - 5		+ 30 - 5	900	0	+ 40 - 5		+ 30 - 5	1,000	0	+ 40 - 5		+ 30 - 5	1,100	0	+ 40 - 5		+ 30 - 5	1,200	0	+ 40 - 5		+ 30 - 5	1,350	0	+ 40 - 5		+ 30 - 5	1,500	0	+ 45 - 5		+ 35 - 5	1,650	0	+ 45 - 5		+ 35 - 5	1,800	0	+ 45 - 5		+ 35 - 5	2,000	0	+ 45 - 5		+ 35 - 5	2,200	0	+ 50 - 5		+ 40 - 5	2,400	0	+ 50 - 5		+ 40 - 5
呼び径 (mm)	J I S A 5 3 5 0																																																																																																																										
	標 準 値	規 格 値		軟 弱 地 盤																																																																																																																							
		D 形																																																																																																																									
		良 質 地 盤																																																																																																																									
200	0	+ 25 - 3		+ 15 - 3																																																																																																																							
250	0	+ 25 - 3		+ 15 - 3																																																																																																																							
300	0	+ 25 - 3		+ 15 - 3																																																																																																																							
350	0	+ 25 - 3		+ 15 - 3																																																																																																																							
400	0	+ 35 - 3		+ 25 - 3																																																																																																																							
450	0	+ 35 - 3		+ 25 - 3																																																																																																																							
500	0	+ 35 - 3		+ 25 - 3																																																																																																																							
600	0	+ 35 - 3		+ 25 - 3																																																																																																																							
700	0	+ 35 - 3		+ 25 - 3																																																																																																																							
800	0	+ 40 - 5		+ 30 - 5																																																																																																																							
900	0	+ 40 - 5		+ 30 - 5																																																																																																																							
1,000	0	+ 40 - 5		+ 30 - 5																																																																																																																							
1,100	0	+ 40 - 5		+ 30 - 5																																																																																																																							
1,200	0	+ 40 - 5		+ 30 - 5																																																																																																																							
1,350	0	+ 40 - 5		+ 30 - 5																																																																																																																							
1,500	0	+ 45 - 5		+ 35 - 5																																																																																																																							
1,650	0	+ 45 - 5		+ 35 - 5																																																																																																																							
1,800	0	+ 45 - 5		+ 35 - 5																																																																																																																							
2,000	0	+ 45 - 5		+ 35 - 5																																																																																																																							
2,200	0	+ 50 - 5		+ 40 - 5																																																																																																																							
2,400	0	+ 50 - 5		+ 40 - 5																																																																																																																							

共通仕様書（農林水産土木工事編）「出来形管理基準及び規格値」 新旧対照表

項目	新（令和7年4月1日）	旧（令和6年4月1日）																																																																
別表エ	<p>別表エ 放射線透過試験による点検の項目と判定基準 (JIS Z 3050 A 基準 準拠)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>判定基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 ルートの溶込み不良</td> <td>目違いのない部分の溶込み不良は、1個の長さ 20 mm以下、連続した溶接長 300 mm当たり合計長さ 25 mm以下を合格とする。</td> </tr> <tr> <td>2 目違いによる溶込み不良</td> <td>ルートの片側の角が露出している（又は溶融されていない）とき、1個の長さ 40 mm以下、連続した溶接長 300 mm当たり合計長さ 70 mm以下を合格とする。</td> </tr> <tr> <td>3 内面へこみ</td> <td>内面へこみは、その部分の写真濃度がこれに接する母材部分の写真濃度を超えない場合は長さに関係なく合格とするが、超える場合には 5 の溶落ちと同様に取り扱う。</td> </tr> <tr> <td>4 融合不良</td> <td>母材と溶接金属との間の融合不良は、1個の長さ 20 mm以下、連続した溶接長 300 mm当たり合計長さ 25 mm以下を合格とする。溶接パス間の融合不良は、1個の長さ 20 mm以下、連続した溶接長 300 mm当たり合計長さ 30 mm以下を合格とする。</td> </tr> <tr> <td>5 溶落ち</td> <td>溶落ちは、いかなる方向に測った寸法も1個につき 6 mm又は管の内厚のいずれか小さい方を超えることなく、連続した溶接長 300 mm当たり最大寸法の合計長さ 12 mm以下を合格とする。</td> </tr> <tr> <td>6 細長いスラグ巻込み</td> <td>細長いスラグ巻込みは、1個の長さ 20 mm以下、幅 1.5 mm以下、連続した溶接長 300 mm当たり合計長さ 30 mm以下を合格とする。平行に並んだスラグ巻込みは、その間隔が1mmを超えていれればそれぞれ独立したきざとみなす。</td> </tr> <tr> <td>7 孤立したスラグ巻込み</td> <td>孤立したスラグ巻込みは、1個の長さ 6mm以下、幅 3mm以下、連続した溶接長 300 mm当たり合計長さ 12 mm以下を合格とする。</td> </tr> <tr> <td>8 タングステン巻込み</td> <td>タングステン巻込みは、JIS Z 3104 付属書4の第4種のきざの像の分類の4類以外を合格とする。</td> </tr> <tr> <td>9 ブローホール及びこれに類する丸みを帯びたきざ</td> <td>ブローホール及びこれに類する丸みを帯びたきざは、JIS Z 3104 付属書4の第1種のきざの像の分類の4類以外を合格とする。</td> </tr> <tr> <td>10 虫状気孔</td> <td>虫状気孔（パイフ）は、JIS Z 3104 付属書4の第2種のきざの像の分類の4類以外を合格とする。</td> </tr> <tr> <td>11 中空ビード</td> <td>中空ビードは、1個の長さ 10 mm以下、連続した溶接長 300 mm当たり合計長さ 50 mm以下で、長さ 6mmを超えるものは、50 mm以上離れていなければならない。</td> </tr> <tr> <td>12 割れ</td> <td>割れは、すべて不合格とする。</td> </tr> <tr> <td>13 きざの集積</td> <td>1 から 11 までに掲げるきざの長さの和が管の円周長さの 8 %以下で、かつ、連続した溶接長 300 mm当たり 50 mm以下を合格とする。ただし 2 に掲げるきざを除く。</td> </tr> <tr> <td>14 アンダカット</td> <td>内面のアンダカットは、1個の長さは 50 mm、合計長さは管の円周長さの 15%を超えてはならない。</td> </tr> <tr> <td>15 きざの写真濃度</td> <td>(a) 透過写真上の大きさと合格するきざでも、写真濃度が母材部の写真濃度より著しく高い場合には、不合格とする。 (b) 内面のビードの写真濃度が著しく低い場合には、不合格とする。</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 工場製作時において、放射線透過試験を行う場合は、JIS Z 3104 により行うものとする。</p> <p>&lt;測定基準&gt; 直管は 10 本又はその端数毎に 1 本、異形管は全て行うものとし、検査位置は原則として、溶接線の両端及び交差部とする。</p>	項目	判定基準	1 ルートの溶込み不良	目違いのない部分の溶込み不良は、1個の長さ 20 mm以下、連続した溶接長 300 mm当たり合計長さ 25 mm以下を合格とする。	2 目違いによる溶込み不良	ルートの片側の角が露出している（又は溶融されていない）とき、1個の長さ 40 mm以下、連続した溶接長 300 mm当たり合計長さ 70 mm以下を合格とする。	3 内面へこみ	内面へこみは、その部分の写真濃度がこれに接する母材部分の写真濃度を超えない場合は長さに関係なく合格とするが、超える場合には 5 の溶落ちと同様に取り扱う。	4 融合不良	母材と溶接金属との間の融合不良は、1個の長さ 20 mm以下、連続した溶接長 300 mm当たり合計長さ 25 mm以下を合格とする。溶接パス間の融合不良は、1個の長さ 20 mm以下、連続した溶接長 300 mm当たり合計長さ 30 mm以下を合格とする。	5 溶落ち	溶落ちは、いかなる方向に測った寸法も1個につき 6 mm又は管の内厚のいずれか小さい方を超えることなく、連続した溶接長 300 mm当たり最大寸法の合計長さ 12 mm以下を合格とする。	6 細長いスラグ巻込み	細長いスラグ巻込みは、1個の長さ 20 mm以下、幅 1.5 mm以下、連続した溶接長 300 mm当たり合計長さ 30 mm以下を合格とする。平行に並んだスラグ巻込みは、その間隔が1mmを超えていれればそれぞれ独立したきざとみなす。	7 孤立したスラグ巻込み	孤立したスラグ巻込みは、1個の長さ 6mm以下、幅 3mm以下、連続した溶接長 300 mm当たり合計長さ 12 mm以下を合格とする。	8 タングステン巻込み	タングステン巻込みは、JIS Z 3104 付属書4の第4種のきざの像の分類の4類以外を合格とする。	9 ブローホール及びこれに類する丸みを帯びたきざ	ブローホール及びこれに類する丸みを帯びたきざは、JIS Z 3104 付属書4の第1種のきざの像の分類の4類以外を合格とする。	10 虫状気孔	虫状気孔（パイフ）は、JIS Z 3104 付属書4の第2種のきざの像の分類の4類以外を合格とする。	11 中空ビード	中空ビードは、1個の長さ 10 mm以下、連続した溶接長 300 mm当たり合計長さ 50 mm以下で、長さ 6mmを超えるものは、50 mm以上離れていなければならない。	12 割れ	割れは、すべて不合格とする。	13 きざの集積	1 から 11 までに掲げるきざの長さの和が管の円周長さの 8 %以下で、かつ、連続した溶接長 300 mm当たり 50 mm以下を合格とする。ただし 2 に掲げるきざを除く。	14 アンダカット	内面のアンダカットは、1個の長さは 50 mm、合計長さは管の円周長さの 15%を超えてはならない。	15 きざの写真濃度	(a) 透過写真上の大きさと合格するきざでも、写真濃度が母材部の写真濃度より著しく高い場合には、不合格とする。 (b) 内面のビードの写真濃度が著しく低い場合には、不合格とする。	<p>別表オ 放射線透過試験による点検の項目と判定基準 (JIS Z 3050 A 基準 準拠)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>判定基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 ルートの溶け込み不良</td> <td>目違いのない部分の溶け込み不良は、1個の長さ 20mm 以下、連続した溶接長 300mm あたり合計長さ 25mm 以下を合格とする。</td> </tr> <tr> <td>2 目違いによる溶け込み不良</td> <td>ルートの片側の角が露出している。(又は溶融されていない) とき、1個の長さ 40mm 以下、連続した溶接長 300mm あたり合計長さ 70mm 以下を合格とする。</td> </tr> <tr> <td>3 内面へこみ</td> <td>内面へこみは、その部分の写真濃度がこれに接する母材部分の写真濃度を超えない場合は長さに関係なく合格とするが、超える場合には 5 の溶落ちと同様に取り扱う。</td> </tr> <tr> <td>4 融合不良</td> <td>母材と溶接金属との間の融合不良は、1個の長さ 20mm 以下、連続した溶接長 300mm あたり合計長さ 25mm 以下を合格とする。溶接パス間の融合不良は、1個の長さ 20mm 以下、連続した溶接長 300mm あたり合計長さ 30mm 以下を合格とする。</td> </tr> <tr> <td>5 溶落ち</td> <td>溶落ちは、いかなる方向に測った寸法も 1個につき 6mm 又は管の内厚のいずれか小さい方を超えることなく、連続した溶接長 300mm あたり最大寸法の合計長さ 12mm 以下を合格とする。</td> </tr> <tr> <td>6 細長いスラグ巻込み</td> <td>細長いスラグ巻込みは、1個の長さ 20mm 以下、幅 1.5mm 以下、連続した溶接長 300mm あたり合計長さ 30mm 以下を合格とする。平行に並んだスラグ巻込みは、その間隔が 1mm を超えていれればそれぞれ独立したきざとみなす。</td> </tr> <tr> <td>7 孤立したスラグ巻込み</td> <td>孤立したスラグ巻込みは、1個の長さ 6mm 以下、幅 3mm 以下、連続した溶接長 300mm あたり合計長さ 12mm 以下を合格とする。</td> </tr> <tr> <td>8 タングステン巻込み</td> <td>タングステン巻込みは、JIS Z 3104 付属書4の第4種のきざの像の分類4類以外を合格とする。</td> </tr> <tr> <td>9 ブローホール及びこれに類する丸みを帯びたきざ</td> <td>ブローホール及びこれに類する丸みを帯びたきざは、JIS Z 3104 付属書4の第1種のきざの像の分類4類以外を合格とする。</td> </tr> <tr> <td>10 虫状気孔</td> <td>虫状気孔（パイフ）は、JIS Z 3104 付属書4の第2種のきざの像の分類4類以外を合格とする。</td> </tr> <tr> <td>11 中空ビード</td> <td>中空ビードは、1個の長さ 10mm 以下、連続した溶接長 300mm あたり合計長さ 50mm 以下で、長さ 6mm を超えるものは、50mm 以上離れていなければならない。</td> </tr> <tr> <td>12 割れ</td> <td>割れは、すべて不合格とする。</td> </tr> <tr> <td>13 きざの集積</td> <td>1 から 11 までに掲げるきざの長さの和が管の円周長さの 8 %以下で、かつ、連続した溶接長 300mm あたり 50mm 以下を合格とする。ただし 2 に掲げるきざを除く。</td> </tr> <tr> <td>14 アンダカット</td> <td>内面のアンダカットは、1個の長さ 50mm、合計長さは管の円周長さの 15 %を超えてはならない。</td> </tr> <tr> <td>15 きざの写真濃度</td> <td>(a) 透過写真上の大きさと合格するきざでも、写真濃度が母材部の写真濃度より著しく高い場合には不合格とする。 (b) 内面のビードの写真濃度が著しく低い場合には、不合格とする。</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 1. 工場製作時において、放射線透過試験を行う場合は、JIS Z 3104 により行うものとする。</p> <p>直管は 10 本又はその端数毎に 1 本、異形管は全て行うものとし、検査位置は原則として、溶接線の両端及び交差部とする。</p>	項目	判定基準	1 ルートの溶け込み不良	目違いのない部分の溶け込み不良は、1個の長さ 20mm 以下、連続した溶接長 300mm あたり合計長さ 25mm 以下を合格とする。	2 目違いによる溶け込み不良	ルートの片側の角が露出している。(又は溶融されていない) とき、1個の長さ 40mm 以下、連続した溶接長 300mm あたり合計長さ 70mm 以下を合格とする。	3 内面へこみ	内面へこみは、その部分の写真濃度がこれに接する母材部分の写真濃度を超えない場合は長さに関係なく合格とするが、超える場合には 5 の溶落ちと同様に取り扱う。	4 融合不良	母材と溶接金属との間の融合不良は、1個の長さ 20mm 以下、連続した溶接長 300mm あたり合計長さ 25mm 以下を合格とする。溶接パス間の融合不良は、1個の長さ 20mm 以下、連続した溶接長 300mm あたり合計長さ 30mm 以下を合格とする。	5 溶落ち	溶落ちは、いかなる方向に測った寸法も 1個につき 6mm 又は管の内厚のいずれか小さい方を超えることなく、連続した溶接長 300mm あたり最大寸法の合計長さ 12mm 以下を合格とする。	6 細長いスラグ巻込み	細長いスラグ巻込みは、1個の長さ 20mm 以下、幅 1.5mm 以下、連続した溶接長 300mm あたり合計長さ 30mm 以下を合格とする。平行に並んだスラグ巻込みは、その間隔が 1mm を超えていれればそれぞれ独立したきざとみなす。	7 孤立したスラグ巻込み	孤立したスラグ巻込みは、1個の長さ 6mm 以下、幅 3mm 以下、連続した溶接長 300mm あたり合計長さ 12mm 以下を合格とする。	8 タングステン巻込み	タングステン巻込みは、JIS Z 3104 付属書4の第4種のきざの像の分類4類以外を合格とする。	9 ブローホール及びこれに類する丸みを帯びたきざ	ブローホール及びこれに類する丸みを帯びたきざは、JIS Z 3104 付属書4の第1種のきざの像の分類4類以外を合格とする。	10 虫状気孔	虫状気孔（パイフ）は、JIS Z 3104 付属書4の第2種のきざの像の分類4類以外を合格とする。	11 中空ビード	中空ビードは、1個の長さ 10mm 以下、連続した溶接長 300mm あたり合計長さ 50mm 以下で、長さ 6mm を超えるものは、50mm 以上離れていなければならない。	12 割れ	割れは、すべて不合格とする。	13 きざの集積	1 から 11 までに掲げるきざの長さの和が管の円周長さの 8 %以下で、かつ、連続した溶接長 300mm あたり 50mm 以下を合格とする。ただし 2 に掲げるきざを除く。	14 アンダカット	内面のアンダカットは、1個の長さ 50mm、合計長さは管の円周長さの 15 %を超えてはならない。	15 きざの写真濃度	(a) 透過写真上の大きさと合格するきざでも、写真濃度が母材部の写真濃度より著しく高い場合には不合格とする。 (b) 内面のビードの写真濃度が著しく低い場合には、不合格とする。
	項目	判定基準																																																																
1 ルートの溶込み不良	目違いのない部分の溶込み不良は、1個の長さ 20 mm以下、連続した溶接長 300 mm当たり合計長さ 25 mm以下を合格とする。																																																																	
2 目違いによる溶込み不良	ルートの片側の角が露出している（又は溶融されていない）とき、1個の長さ 40 mm以下、連続した溶接長 300 mm当たり合計長さ 70 mm以下を合格とする。																																																																	
3 内面へこみ	内面へこみは、その部分の写真濃度がこれに接する母材部分の写真濃度を超えない場合は長さに関係なく合格とするが、超える場合には 5 の溶落ちと同様に取り扱う。																																																																	
4 融合不良	母材と溶接金属との間の融合不良は、1個の長さ 20 mm以下、連続した溶接長 300 mm当たり合計長さ 25 mm以下を合格とする。溶接パス間の融合不良は、1個の長さ 20 mm以下、連続した溶接長 300 mm当たり合計長さ 30 mm以下を合格とする。																																																																	
5 溶落ち	溶落ちは、いかなる方向に測った寸法も1個につき 6 mm又は管の内厚のいずれか小さい方を超えることなく、連続した溶接長 300 mm当たり最大寸法の合計長さ 12 mm以下を合格とする。																																																																	
6 細長いスラグ巻込み	細長いスラグ巻込みは、1個の長さ 20 mm以下、幅 1.5 mm以下、連続した溶接長 300 mm当たり合計長さ 30 mm以下を合格とする。平行に並んだスラグ巻込みは、その間隔が1mmを超えていれればそれぞれ独立したきざとみなす。																																																																	
7 孤立したスラグ巻込み	孤立したスラグ巻込みは、1個の長さ 6mm以下、幅 3mm以下、連続した溶接長 300 mm当たり合計長さ 12 mm以下を合格とする。																																																																	
8 タングステン巻込み	タングステン巻込みは、JIS Z 3104 付属書4の第4種のきざの像の分類の4類以外を合格とする。																																																																	
9 ブローホール及びこれに類する丸みを帯びたきざ	ブローホール及びこれに類する丸みを帯びたきざは、JIS Z 3104 付属書4の第1種のきざの像の分類の4類以外を合格とする。																																																																	
10 虫状気孔	虫状気孔（パイフ）は、JIS Z 3104 付属書4の第2種のきざの像の分類の4類以外を合格とする。																																																																	
11 中空ビード	中空ビードは、1個の長さ 10 mm以下、連続した溶接長 300 mm当たり合計長さ 50 mm以下で、長さ 6mmを超えるものは、50 mm以上離れていなければならない。																																																																	
12 割れ	割れは、すべて不合格とする。																																																																	
13 きざの集積	1 から 11 までに掲げるきざの長さの和が管の円周長さの 8 %以下で、かつ、連続した溶接長 300 mm当たり 50 mm以下を合格とする。ただし 2 に掲げるきざを除く。																																																																	
14 アンダカット	内面のアンダカットは、1個の長さは 50 mm、合計長さは管の円周長さの 15%を超えてはならない。																																																																	
15 きざの写真濃度	(a) 透過写真上の大きさと合格するきざでも、写真濃度が母材部の写真濃度より著しく高い場合には、不合格とする。 (b) 内面のビードの写真濃度が著しく低い場合には、不合格とする。																																																																	
項目	判定基準																																																																	
1 ルートの溶け込み不良	目違いのない部分の溶け込み不良は、1個の長さ 20mm 以下、連続した溶接長 300mm あたり合計長さ 25mm 以下を合格とする。																																																																	
2 目違いによる溶け込み不良	ルートの片側の角が露出している。(又は溶融されていない) とき、1個の長さ 40mm 以下、連続した溶接長 300mm あたり合計長さ 70mm 以下を合格とする。																																																																	
3 内面へこみ	内面へこみは、その部分の写真濃度がこれに接する母材部分の写真濃度を超えない場合は長さに関係なく合格とするが、超える場合には 5 の溶落ちと同様に取り扱う。																																																																	
4 融合不良	母材と溶接金属との間の融合不良は、1個の長さ 20mm 以下、連続した溶接長 300mm あたり合計長さ 25mm 以下を合格とする。溶接パス間の融合不良は、1個の長さ 20mm 以下、連続した溶接長 300mm あたり合計長さ 30mm 以下を合格とする。																																																																	
5 溶落ち	溶落ちは、いかなる方向に測った寸法も 1個につき 6mm 又は管の内厚のいずれか小さい方を超えることなく、連続した溶接長 300mm あたり最大寸法の合計長さ 12mm 以下を合格とする。																																																																	
6 細長いスラグ巻込み	細長いスラグ巻込みは、1個の長さ 20mm 以下、幅 1.5mm 以下、連続した溶接長 300mm あたり合計長さ 30mm 以下を合格とする。平行に並んだスラグ巻込みは、その間隔が 1mm を超えていれればそれぞれ独立したきざとみなす。																																																																	
7 孤立したスラグ巻込み	孤立したスラグ巻込みは、1個の長さ 6mm 以下、幅 3mm 以下、連続した溶接長 300mm あたり合計長さ 12mm 以下を合格とする。																																																																	
8 タングステン巻込み	タングステン巻込みは、JIS Z 3104 付属書4の第4種のきざの像の分類4類以外を合格とする。																																																																	
9 ブローホール及びこれに類する丸みを帯びたきざ	ブローホール及びこれに類する丸みを帯びたきざは、JIS Z 3104 付属書4の第1種のきざの像の分類4類以外を合格とする。																																																																	
10 虫状気孔	虫状気孔（パイフ）は、JIS Z 3104 付属書4の第2種のきざの像の分類4類以外を合格とする。																																																																	
11 中空ビード	中空ビードは、1個の長さ 10mm 以下、連続した溶接長 300mm あたり合計長さ 50mm 以下で、長さ 6mm を超えるものは、50mm 以上離れていなければならない。																																																																	
12 割れ	割れは、すべて不合格とする。																																																																	
13 きざの集積	1 から 11 までに掲げるきざの長さの和が管の円周長さの 8 %以下で、かつ、連続した溶接長 300mm あたり 50mm 以下を合格とする。ただし 2 に掲げるきざを除く。																																																																	
14 アンダカット	内面のアンダカットは、1個の長さ 50mm、合計長さは管の円周長さの 15 %を超えてはならない。																																																																	
15 きざの写真濃度	(a) 透過写真上の大きさと合格するきざでも、写真濃度が母材部の写真濃度より著しく高い場合には不合格とする。 (b) 内面のビードの写真濃度が著しく低い場合には、不合格とする。																																																																	

共通仕様書（農林水産土木工事編）「出来形管理基準及び規格値」 新旧対照表

項目	新（令和7年4月1日）	旧（令和6年4月1日）																						
別表オ	<p>別表オ 塗覆装の方式及びその厚さと判定基準</p> <table border="1" data-bbox="461 411 1162 751"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>塗覆装方式</th> <th>判定基準 (最小厚さ (mm))</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">直管 テーパ付き直管 異形管</td> <td>【内面塗装】 「水輸送用塗覆装鋼管－第4部：内面エポキシ樹脂塗装 (JIS G 3443-4)」 溶剤形エポキシ樹脂塗装</td> <td>0.5 mm以上 (「農業用プラスチック被覆鋼管(WSPA-101-2009)」による)</td> </tr> <tr> <td>【外面塗装】 「水輸送用塗覆装鋼管－第3部：長寿命形外面プラスチック被覆 (JIS G 3443-3)」</td> <td>2.0 mm以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">現場溶接部</td> <td>【内面塗装】 「水輸送用塗覆装鋼管－第4部：内面エポキシ樹脂塗装 (JIS G 3443-4)」 溶剤形エポキシ樹脂塗装</td> <td>0.5 mm以上 (「農業用プラスチック被覆鋼管(WSPA-101-2009)」による)</td> </tr> <tr> <td>【外面塗装】 「水道用塗覆装鋼管ジョイントコート (WSP 012-2010)」</td> <td>プラスチック系の場合 基材：1.5 mm以上 粘着材：1.0 mm以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 制水弁室、スラストブロック等貫通部の外面塗覆装は、原則としてプラスチック被覆とする。          なお、スチフナーについても同様とするが、同部の被覆厚さについては規定しない。          ただし、フランジ等外面部でプラスチック被覆の施工ができない場合は水道用液状エポキシ樹脂塗料塗装とし、塗膜厚 0.5mm 以上とする。          2. 継手部の外面塗覆装は、「水道用塗覆装鋼管ジョイントコート(WSP 012)」プラスチック系を基本とする。なお、施工条件等やむを得ない理由により、プラスチック系が使用できない場合は、ゴム系を使用する。          ただし、ゴム系の最小厚さは、1.5mm とする。</p> <p>&lt;測定基準&gt;          (1) エポキシ樹脂塗装          現場塗装箇所 10箇所につき1箇所測定するものとし、1箇所につき12点測定する。          (天地左右、縦断方向に各3点)</p>  <p>(2) ジョイントコート          ジョイントコート施工箇所 10箇所につき1箇所測定するものとし、1箇所につき4点測定する。</p> 	種別	塗覆装方式	判定基準 (最小厚さ (mm))	直管 テーパ付き直管 異形管	【内面塗装】 「水輸送用塗覆装鋼管－第4部：内面エポキシ樹脂塗装 (JIS G 3443-4)」 溶剤形エポキシ樹脂塗装	0.5 mm以上 (「農業用プラスチック被覆鋼管(WSPA-101-2009)」による)	【外面塗装】 「水輸送用塗覆装鋼管－第3部：長寿命形外面プラスチック被覆 (JIS G 3443-3)」	2.0 mm以上	現場溶接部	【内面塗装】 「水輸送用塗覆装鋼管－第4部：内面エポキシ樹脂塗装 (JIS G 3443-4)」 溶剤形エポキシ樹脂塗装	0.5 mm以上 (「農業用プラスチック被覆鋼管(WSPA-101-2009)」による)	【外面塗装】 「水道用塗覆装鋼管ジョイントコート (WSP 012-2010)」	プラスチック系の場合 基材：1.5 mm以上 粘着材：1.0 mm以上	<p>別表カ 塗覆装の方式及びその厚さ</p> <table border="1" data-bbox="1346 373 2011 798"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>塗覆装方式</th> <th>最小厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>直管 テーパ付き直管 異形管</td> <td>プラスチック被膜 「水道用プラスチック被覆鋼管 WSP 047-92」 「農業用プラスチック被覆鋼管 WSPA-101-2005」</td> <td>2.0mm 以上</td> </tr> <tr> <td>現場溶接部</td> <td>「水道用塗覆装鋼管ジョイントコート WSP 012-2006」</td> <td>プラスチック系の場合 基材：1.5mm 以上 粘着材：1.0mm 以上 ゴム系の場合 基材：1.5mm 以上 粘着材：0.8mm 以上 保護シート：2.0mm 以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 1. 制水弁室、スラストブロック等貫通部の外面塗覆装は、原則としてプラスチック被覆とする。なお、スチフナーについても同様とするが、同部の被覆厚さについては規定しない。          ただし、フランジ等外面部でプラスチック被覆の施工ができない場合は水道用液状エポキシ樹脂塗料塗装とし、塗膜厚 0.5mm 以上とする。          2. 継手部の外面塗覆装は、「水道用塗覆装鋼管ジョイントコート (WSP 012)」プラスチック系を基本とする。なお、施工条件等やむを得ない理由により、プラスチック系が使用できない場合は、ゴム系を使用する。          ただし、ゴム系の最小厚さは1.5mm とする。</p>	種別	塗覆装方式	最小厚さ (mm)	直管 テーパ付き直管 異形管	プラスチック被膜 「水道用プラスチック被覆鋼管 WSP 047-92」 「農業用プラスチック被覆鋼管 WSPA-101-2005」	2.0mm 以上	現場溶接部	「水道用塗覆装鋼管ジョイントコート WSP 012-2006」	プラスチック系の場合 基材：1.5mm 以上 粘着材：1.0mm 以上 ゴム系の場合 基材：1.5mm 以上 粘着材：0.8mm 以上 保護シート：2.0mm 以上
種別	塗覆装方式	判定基準 (最小厚さ (mm))																						
直管 テーパ付き直管 異形管	【内面塗装】 「水輸送用塗覆装鋼管－第4部：内面エポキシ樹脂塗装 (JIS G 3443-4)」 溶剤形エポキシ樹脂塗装	0.5 mm以上 (「農業用プラスチック被覆鋼管(WSPA-101-2009)」による)																						
	【外面塗装】 「水輸送用塗覆装鋼管－第3部：長寿命形外面プラスチック被覆 (JIS G 3443-3)」	2.0 mm以上																						
現場溶接部	【内面塗装】 「水輸送用塗覆装鋼管－第4部：内面エポキシ樹脂塗装 (JIS G 3443-4)」 溶剤形エポキシ樹脂塗装	0.5 mm以上 (「農業用プラスチック被覆鋼管(WSPA-101-2009)」による)																						
	【外面塗装】 「水道用塗覆装鋼管ジョイントコート (WSP 012-2010)」	プラスチック系の場合 基材：1.5 mm以上 粘着材：1.0 mm以上																						
種別	塗覆装方式	最小厚さ (mm)																						
直管 テーパ付き直管 異形管	プラスチック被膜 「水道用プラスチック被覆鋼管 WSP 047-92」 「農業用プラスチック被覆鋼管 WSPA-101-2005」	2.0mm 以上																						
現場溶接部	「水道用塗覆装鋼管ジョイントコート WSP 012-2006」	プラスチック系の場合 基材：1.5mm 以上 粘着材：1.0mm 以上 ゴム系の場合 基材：1.5mm 以上 粘着材：0.8mm 以上 保護シート：2.0mm 以上																						

共通仕様書（農林水産土木工事編）「写真管理基準」 新旧対照表

新（令和7年4月1日）		旧（令和6年4月1日）	
工種	<u>1 水路工事</u> 1 コンクリート二次製品水路 ベンチフリューム 排水フリューム 道路側溝等	工種	<u>コンクリート二次製品水路</u> ベンチフリューム 排水フリューム 道路側溝等
撮影時期	施工中 _____	撮影時期	施工中 <u>施工後</u>
撮影頻度	(略)	撮影頻度	(略) <u>上記未満は2箇所撮影</u>
工種	<u>1 水路工事</u> 2 コンクリート二次製品水路 コンクリートブロック積 鉄筋コンクリート組立柵渠	工種	<u>コンクリート二次製品水路</u> コンクリートブロック積 鉄筋コンクリート組立柵渠
撮影項目	<u>【コンクリートブロック積み】</u> (略) <u>【鉄筋コンクリート組立柵渠】</u> (略) <u>アーム間隔・柵板設置</u>	撮影項目	(略) (略)
撮影頻度	(略) 上記未満は2 <u>回</u>	撮影頻度	(略) 上記未満は2 <u>箇所撮影</u>
工種	<u>1 水路工事</u> 3 コンクリート二次製品水路 鉄筋コンクリート大型フリューム水路 鉄筋コンクリートL型水路	工種	<u>コンクリート二次製品水路</u> 鉄筋コンクリート大型フリューム水路 鉄筋コンクリートL型水路
撮影項目	<u>【鉄筋コンクリート大型フリューム水路】</u> (略) <u>【鉄筋コンクリートL型水路】</u> (略)	撮影時期	(略) (略)
撮影時期	施工中 _____ (略)	撮影時期	施工中 <u>施工後</u> (略)
撮影頻度	(略) 上記未満は2 <u>回</u>	撮影頻度	(略) 上記未満は2 <u>箇所撮影</u>

共通仕様書（農林水産土木工事編）「写真管理基準」 新旧対照表

新（令和7年4月1日）		旧（令和6年4月1日）	
工種	<u>1 水路工事</u> <u>4</u> コンクリート二次製品水路 暗渠	工種	<u>コンクリート二次製品水路</u> 暗渠
撮影時期	施工中 _____	撮影時期	施工中 <u>施工後</u>
撮影頻度	(略) 上記未満は <u>2 回</u>	撮影頻度	(略) 上記未満は <u>2 箇所撮影</u>
工種	<u>1 水路工事</u> <u>5 ライニング水路</u> <u>連節ブロック</u> コンクリートマット	工種	_____ _____
種別	<u>本体</u>	種別	_____
撮影項目	<u>施工状況</u> <u>幅・法長</u>	撮影項目	_____ _____
撮影時期	<u>施工中</u> <u>施工後</u>	撮影時期	_____ _____
撮影頻度	<u>50～100m に 1 回または 1 施工単位に 1 回</u> <u>上記未満は 2 回</u>	撮影頻度	_____ _____



共通仕様書（農林水産土木工事編）「写真管理基準」 新旧対照表

新（令和7年4月1日）		旧（令和6年4月1日）	
工種	<u>1 水路工事</u> <u>6 開水路（現場打）</u>	工種	<u>開水路（現場打）</u>
工種	<u>1 水路工事</u> <u>7 サイホン（現場打）</u>	工種	<u>サイホン（現場打）</u>
工種	<u>1 水路工事</u> <u>8 暗渠（現場打）</u>	工種	<u>暗渠（現場打）</u>
撮影項目	【配筋】 位置・間隔・ <u>継手寸法</u> 【本体】 (略)	撮影項目	【配筋】 位置・間隔 _____ 【本体】 (略)
工種	<u>1 水路工事</u> <u>9 水路トンネル 支保工</u>	工種	_____
種別	<u>支保</u>	種別	_____
撮影項目	<u>巻厚・型枠・切羽・支保工・矢板・坑口・その他必要箇所</u>	撮影項目	_____
撮影時期	<u>施工中</u> <u>施工後</u>	撮影時期	_____ _____
撮影頻度	<u>巻厚は1スパンにつき1回、そのほかは掘削タイプの変化する毎に1回</u>	撮影頻度	_____ _____

共通仕様書（農林水産土木工事編）「写真管理基準」 新旧対照表

新（令和7年4月1日）		旧（令和6年4月1日）	
工種	<u>1 水路工事</u> <u>1 0 水路トンネル コンクリート覆工</u>	工種	_____
種別	<u>本体</u>	種別	_____
撮影項目	<u>巻厚・型枠・切羽・支保工・矢板・坑口・その他必要箇所</u>	撮影項目	_____
撮影時期	<u>施工中</u> <u>施工後</u>	撮影時期	_____ _____
撮影頻度	<u>巻厚は1スパンにつき1回、そのほかは掘削タイプの変化する毎に1回</u>	撮影頻度	_____ _____
工種	<u>1 水路工事</u> <u>1 1 管水路（遠心力鉄筋コンクリート_____管）</u> <u>RC管</u>	工種	_____管水路（_____コンクリート <u>二次製品</u> 管）
種別	<u>本体</u>	種別	<u>布設</u>
撮影項目	<u>継手状況</u> <u>ジョイント間隔</u>	撮影項目	<u>継手状況</u> _____
撮影時期	<u>施工中</u> <u>施工後</u>	撮影時期	<u>施工中</u> _____

共通仕様書（農林水産土木工事編）「写真管理基準」 新旧対照表

新（令和7年4月1日）		旧（令和6年4月1日）	
工種	<u>1 水路工事</u> <u>1 2</u> 管水路（鋼管）	工種	<u>管水路</u> （鋼管）
種別	<u>本体</u>	種別	<u>布設</u>
撮影項目	継手状況 <u>放射線透過試験・膜厚検査・たわみ量</u>	撮影項目	継手状況 _____
撮影時期	施工中 <u>施工後</u>	撮影時期	施工中 _____
工種	<u>1 水路工事</u> <u>1 3</u> 管水路（ <u>ダク</u> タイル 鋳鉄管、強化プラス <u>チ</u> ック複合管）	工種	<u>管水路</u> （_____ 鋳鉄管、強化プラス <u>テ</u> ック複合管）
種別	<u>本体</u>	種別	<u>布設</u>
撮影項目	継手状況 <u>ジョイント間隔・たわみ量</u>	撮影項目	継手状況 _____
撮影時期	施工中 <u>施工後</u>	撮影時期	施工中 _____

共通仕様書（農林水産土木工事編）「写真管理基準」 新旧対照表

新（令和7年4月1日）		旧（令和6年4月1日）	
工種	<u>1 水路工事</u> <u>1 4 管水路</u> （硬質 <u>ポリ塩化ビニル管</u> ）	工種	<u>管水路</u> （硬質 <u>塩ビ管</u> ）
種別	<u>本体</u>	種別	<u>布設</u>
工種	<u>1 水路工事</u> <u>1 5 管体基礎工</u> （砂基礎等）	工種	<u>管水路</u>
撮影項目	<u>まきだし・締固め状況</u> <u>幅・厚さ</u>	撮影項目	<u>施工状況</u> <u>砂（幅・厚さ）</u> <u>コンクリート（幅・高さ）</u>
撮影時期	施工中 <u>施工後</u>	撮影時期	施工中
工種	<u>2 ほ場整備工事</u> <u>1 耕土深</u>	工種	<u>ほ場整備</u>
工種	<u>2 ほ場整備工事</u> <u>2 基盤整地田面整地</u>	工種	<u>ほ場整備</u>
種別	基盤 _____ 田面 _____	種別	基盤 <u>整地</u> 田面 <u>整地</u>

共通仕様書（農林水産土木工事編）「写真管理基準」 新旧対照表

新（令和7年4月1日）		旧（令和6年4月1日）	
工種	<u>2ほ場整備工事</u> <u>3畑面整地</u>	工種	<u>ほ場整備</u>
種別	畑面		畑面 <u>整地</u>
工種	<u>2ほ場整備工事</u> <u>4畦畔工</u>	工種	<u>ほ場整備</u>
撮影項目	高さ・幅・ <u>法勾配</u>	撮影項目	高さ・幅
撮影頻度	200～400mにつき1 <u>回</u> 上記未满是 <u>1回</u>	撮影頻度	200～400mにつき1 <u>箇所撮影</u> 上記未满是 <u>2箇所</u>
工種	<u>2ほ場整備工事</u> <u>5水路工（素掘）</u>	工種	<u>ほ場整備</u>
種別	<u>掘削</u>	種別	<u>水路</u>
撮影項目	<u>施工状況</u> <u>幅・高さ</u>	撮影項目	
撮影時期	<u>施工中</u> <u>施工後</u>	撮影時期	
撮影頻度	<u>200～400mにつき1回または1施工単位に1回</u> 上記未满是 <u>2回</u>	撮影頻度	<u>各種該当工種により撮影する</u>

共通仕様書（農林水産土木工事編）「写真管理基準」 新旧対照表

新（令和7年4月1日）		旧（令和6年4月1日）	
工種	<u>2 ほ場整備工事</u> <u>6 コンクリート二次製品水路</u>	工種	_____
種別	<u>本体</u>	種別	_____
撮影項目	<u>施工状況</u>	撮影項目	_____
撮影時期	<u>施工中</u> <u>施工後</u>	撮影時期	_____ _____
撮影頻度	<u>50～100mにつき1回または1施工単位に1回</u>	撮影頻度	_____
工種	<u>2 ほ場整備工事</u> <u>7 道路工（砂利道以下）</u>	工種	<u>ほ場整備</u> _____
種別	幹線道路 _____	種別	幹線道路 <u>（砂利道以下）</u>
工種	<u>2 ほ場整備工事</u> <u>7 道路工（砂利道以下）</u>	工種	<u>ほ場整備</u> _____
種別	支線道路 _____	種別	支線道路 <u>（砂利道以下）</u>

共通仕様書（農林水産土木工事編）「写真管理基準」 新旧対照表

新（令和7年4月1日）		旧（令和6年4月1日）	
工種	_____	工種	<u>ほ場整備</u>
種別	_____	種別	<u>雑物除去</u>
撮影項目	_____	撮影項目	<u>施工及び集積状況</u>
撮影時期	_____ _____	撮影時期	<u>施工中</u> <u>施工後</u>
撮影頻度	_____	撮影頻度	<u>1haに1回または1施工単位に1回</u>
工種	_____	工種	<u>ほ場整備</u>
種別	_____	種別	<u>諸構造物</u>
撮影項目		撮影項目	
撮影時期		撮影時期	
撮影頻度	_____	撮影頻度	<u>各種該当工種により撮影する</u>

共通仕様書（農林水産土木工事編）「写真管理基準」 新旧対照表

新（令和7年4月1日）		旧（令和6年4月1日）	
工種	<u>3 暗渠排水 工事</u> <u>1 吸水渠</u>	工種	<u>暗渠排水</u>
撮影頻度	<u>1 耕区当たり 1 路線</u> <u>1 路線・・・2 回（管理孔側、水閘側）</u> <u>ただし、100m 以上の場合は 3 回（管理孔側、中間部、水閘側）</u>	撮影頻度	<u>各種類毎に吸水渠 1 本毎に 1 回</u> <u>ただし 1 本 50m 未満 1 回</u>
工種	<u>3 暗渠排水 工事</u> <u>2 吸水渠（非開削工型）</u>	工種	<u>暗渠排水</u>
種別	吸水渠	種別	吸水渠 <u>（非開削工型）</u>
工種	<u>3 暗渠排水 工事</u> <u>3 集水渠（支線） 導水渠（幹線）</u>	工種	<u>暗渠排水</u>
種別	集水渠 <u>導水渠</u>	種別	集水渠
撮影頻度	<u>50～100m に 1 回</u>	撮影頻度	<u>各種類毎に集水渠 1 本毎に 1 回</u> <u>ただし 1 本 50m 未満 1 回</u>



共通仕様書（農林水産土木工事編）「写真管理基準」 新旧対照表

新（令和7年4月1日）		旧（令和6年4月1日）	
工種	<u>3 暗渠排水工事</u> <u>4 集水渠導水渠（非開削工型）</u>	工種	_____
種別	<u>集水渠</u> <u>導水渠</u>	種別	_____ _____
撮影項目	<u>埋設深</u> <u>その他必要箇所</u>	撮影項目	_____ _____
撮影時期	<u>施工中</u>	撮影時期	_____
撮影頻度	<u>50～100m に 1 回</u>	撮影頻度	_____
工種	<u>3 暗渠排水工事</u> <u>5 補助暗渠（弾丸暗渠含む）</u>	工種	<u>暗渠排水</u> _____
工種	<u>3 暗渠排水工事</u> <u>6 吸水渠集水渠（支線）導水渠（幹線）</u>	工種	_____ _____
種別	<u>吸水渠</u> <u>集水渠</u> <u>導水渠</u>	種別	_____ _____ _____
撮影項目 撮影時期 撮影頻度	<u>「情報化施工技術の活用ガイドライン」等による</u>	撮影項目 撮影時期 撮影頻度	_____



共通仕様書（農林水産土木工事編）「写真管理基準」 新旧対照表

新（令和7年4月1日）		旧（令和6年4月1日）	
工種	<u>5 ため池工事</u> <u>1 堤体工</u>	工種	<u>ため池</u>
種別	(略)	種別	(略)
	(略)		(略)
	(略)		(略)
	(略)		(略)
撮影項目	(略)	撮影項目	<u>附帯施設</u>
	(略)		(略)
	(略)		(略)
	堤 体 堤体幅・ <u>法長</u> ・法勾配 <u>その他必要箇所</u>		堤 体 堤体幅・ <u>高さ</u> ・法勾配 _____
撮影時期	<u>施工後</u>	撮影時期	<u>掘削後</u>
	(略)		(略)
	(略)		(略)
	(略)		(略)
撮影頻度	<u>20～40m</u> に1回または1施工単位に1回	撮影頻度	<u>30</u> m に1回または1施工単位に1回
	<u>20～40m</u> に1回または1施工単位に1回		<u>30</u> m に1回または1施工単位に1回
	盛土高 <u>1m</u> 毎に <u>20～40m</u> に1回または1施工単位に1回		盛土高 <u>は</u> 1m 毎 <u>30</u> m に1回また <u>1</u> 施工単位に1回
	<u>20～40m</u> に1回または1施工単位に1回		<u>30</u> m に1回または1施工単位に1回
工種	<u>5 ため池工事</u> <u>2 刃金工</u>	工種	_____
種別	<u>盛土</u>	種別	_____
撮影項目	<u>まき出し厚、施工状況</u> <u>幅、その他必要箇所</u>	撮影項目	_____
撮影時期	<u>施工中</u>	撮影時期	_____
	<u>施工後</u>		_____
撮影頻度	盛土高 <u>1m</u> 毎に <u>20～40m</u> に1回または1施工単位に1回	撮影頻度	_____
	<u>20～40m</u> に1回または1施工単位に1回		_____

共通仕様書（農林水産土木工事編）「写真管理基準」 新旧対照表

新（令和7年4月1日）		旧（令和6年4月1日）	
工種	<u>5 ため池工事</u> <u>3 洪水吐工</u>	工種	_____
種別	<u>床堀</u>	種別	_____
	<u>配筋</u>		_____
	<u>本体</u>		_____
撮影項目	<u>幅・深さ</u>	撮影項目	_____
	<u>位置・間隔・継手寸法</u>		_____
	<u>幅・高さ・厚さ・止水板 其他必要箇所</u>		_____
撮影時期	<u>施工後</u>	撮影時期	_____
	<u>施工中</u>		_____
	<u>施工後</u>		_____
撮影頻度	<u>20～40m に 1 回または 1 施工単位に 1 回</u>	撮影頻度	_____
	<u>50m に 1 回または 1 施工単位に 1 回</u>		_____
工種	<u>5 ため池工事</u> <u>4 樋管工 同上附帯構造物（土砂吐ゲート等）</u>	工種	_____
種別	<u>床堀</u>	種別	_____
	<u>配筋</u>		_____
	<u>本体</u>		_____
撮影項目	<u>幅・深さ</u>	撮影項目	_____
	<u>位置・間隔・継手寸法</u>		_____
	<u>幅・高さ・厚さ・止水板 其他必要箇所</u>		_____
撮影時期	<u>施工後</u>	撮影時期	_____
	<u>施工中</u>		_____
	<u>施工後</u>		_____
撮影頻度	<u>20～40m に 1 回または 1 施工単位に 1 回</u>	撮影頻度	_____
	<u>50m に 1 回または 1 施工単位に 1 回</u>		_____

共通仕様書（農林水産土木工事編）「写真管理基準」 新旧対照表

新（令和7年4月1日）		旧（令和6年4月1日）	
工種	<u>6地すべり工事</u> <u>1杭打工</u>	工種	<u>地すべり</u>
種別	杭打	種別	杭打
撮影項目		撮影項目	<u>杭長・打込長 数量</u>
撮影時期	<u>土木工事編Ⅱ既製杭工適用</u>	撮影時期	<u>打込前</u> <u>打込後</u>
撮影頻度		撮影頻度	<u>1 施工単位に1回</u>
工種	<u>6地すべり工事</u> <u>2集排水ボーリング工</u>	工種	<u>地すべり</u>
種別	<u>ボーリング</u>	種別	<u>縦横穴</u> ボーリング
撮影項目		撮影項目	<u>基準高、ボーリング径・長さ</u> <u>その他必要箇所</u>
撮影時期	<u>土木工事編Ⅱ集排水ボーリング工適用</u>	撮影時期	<u>施工後</u>
撮影頻度		撮影頻度	<u>1 施工単位に1回</u>

共通仕様書（農林水産土木工事編）「写真管理基準」 新旧対照表

新（令和7年4月1日）		旧（令和6年4月1日）	
工種	<u>6地すべり</u> <u>工事</u> <u>3集水井</u>	工種	<u>地すべり</u>
種別	集水井	種別	集水井 <u>(ライナー)</u>
撮影項目		撮影項目	<u>基準高</u> <u>その他必要箇所</u> <u>土質</u>
撮影時期	<u>土木工事編Ⅱ集水井工適用</u>	撮影時期	<u>施工後</u> <u>施工中</u>
撮影頻度		撮影頻度	<u>各種類毎に1施工単位に1回</u> <u>1施工単位毎で土質の変わる毎に1回</u>
工種		工種	<u>諸構造物</u>
種別		種別	
撮影項目		撮影項目	
撮影時期		撮影時期	
撮影頻度		撮影頻度	<u>各種該当工種により撮影する</u>

共通仕様書（農林水産土木工事編）「写真管理基準」 新旧対照表

新（令和7年4月1日）		旧（令和6年4月1日）	
工種	_____	工種	<u>樋門</u> <u>樋管</u>
種別	_____	種別	<u>本体工</u> <u>水路工</u> <u>門扉及び開閉装置</u>
撮影項目	_____	撮影項目	<u>各部幅・厚さ 高さ・長さ</u> // <u>工場製作</u> <u>塗装</u> <u>型枠取外し後</u>
撮影時期	_____	撮影時期	// 二 二
撮影頻度	_____	撮影頻度	<u>1 施工単位に 1 回</u> <u>100m に 1 回または 1 施工単位に 1 回</u> <u>鋼橋に準ずる</u> //
工種	_____	工種	<u>敷砂利工</u>
種別	_____	種別	<u>敷砂利</u>
撮影項目	_____	撮影項目	<u>敷均し厚 転圧状況</u> <u>厚さ・敷幅</u>
撮影時期	_____	撮影時期	<u>施工中</u> <u>施工後</u>
撮影頻度	_____	撮影頻度	<u>200m に 1 回または 1 施工単位に 1 回</u> //





共通仕様書（農林水産土木工事編）「写真管理基準」 新旧対照表

新（令和7年4月1日）		旧（令和6年4月1日）	
工種		工種	<u>河川護岸</u>
種別		種別	<u>コンクリート法覆工 アスファルト工 根固工</u>
撮影項目		撮影項目	<u>幅・厚さ 法勾配・法長 その他必要箇所</u>
撮影時期		撮影時期	<u>施工後</u>
撮影頻度		撮影頻度	<u>100mに1回または1施工単位に1回</u>

共通仕様書（農林水産土木工事編）「写真管理基準」 新旧対照表

新（令和7年4月1日）					旧（令和6年4月1日）					
工種	種別	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	工種	種別	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	
7 林道	1.掘削工	(略)			林道	掘削工	(略)			
	2.路体盛土 路床盛土	(略)				路体盛土 路床盛土	(略)			
	3.路盤構造物	(略)				路盤構造物	(略)			
	4.特殊路面工	(略)				特殊路面工	(略)			
	5.表層工	アスファルト舗装	土木工事編Ⅱ アスファルト舗装工 (表層工)適用	同左		同左	(追加)			
	6.ベンチフリューム 排水フリューム 道路側溝	(略)				ベンチフリューム 排水フリューム 道路側溝	(略)			
	7.ウッドカーブ	(略)				ウッドカーブ	(略)			
	8.胴木基礎工	(略)				胴木基礎工	(略)			
	9.丸太法面工	(略)				丸太法面工	(略)			

共通仕様書（農林水産土木工事編）「写真管理基準」 新旧対照表

新（令和7年4月1日）					旧（令和6年4月1日）				
工種	種別	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	工種	種別	撮影項目	撮影時期	撮影頻度
8 山 腹 工	1.掘削	(略)			掘削	(略)			
	2.治山ダム 堰堤工 本堤 副堤 床固工 谷止工	(略)			治山ダム 堰堤工 本堤 副堤 床固工 谷止工	(略)			
	3.水叩				水叩				
	4.側壁 袖かくし 間詰	(削除)			側壁 袖かくし 間詰	鋼製自在枠	組立	施工中	//
							縮付け	//	//
	5.鋼製ダム (スリットタイプ)	鋼製自在枠	組立 縮付け	施工中	1 施工単位に1 回	(追加)			
	6.鋼製ダム (枠工タイプ)、鋼製自 在枠、大型ふ とんかご								
	7.鋼製側壁								
8.流路工 護岸工	型枠 コンクリート打設	治山ダムと同 治山ダムと同	同左 同左	同左 同左	(追加) (追加)				
8 溪 間 工 ・ 山 腹 工	9.仮設道	路盤工	幅・厚さ	施工後	200mに1回又 は1 施工単位 に1回	(追加)			

共通仕様書（農林水産土木工事編）「写真管理基準」 新旧対照表

新（令和7年4月1日）					旧（令和6年4月1日）						
工種	種別	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	工種	種別	撮影項目	撮影時期	撮影頻度		
9 山腹工	1. 法切整地工	(略)			山腹工	法切工	(略)				
	2. 土留工埋設工	(略)				土留工埋設工	(略)				
		コンクリート擁壁	(略)				コンクリート	(略)			
		(略)	(略)				(略)	(略)			
	3. 水路工	(略)				水路工	(略)				
	4. 暗渠工	(略)				暗渠工	(略)				
	5. 柵工	編・木・鋼	杭長・杭間隔 柵高	施工後		80mに1回または1施工単位に1回	柵工	編・木・鋼	杭長・杭間隔 柵高	施工後	100mに1回または1施工単位に1回
	6. 積苗工	(略)				積苗工	(略)				
	7. 筋工	石・萱・芝・植生袋	階段拵え 階段直高・幅	施工中 施工後		1施工単位に1回	筋工	石・萱・芝 植生袋	〃	〃	〃
		丸太	杭長・杭間隔 柵高	施工後		1施工単位に1回		(追加)			
	8. 伏工	粗朶・わらむしる	法長・延長	施工後		1施工単位に1回	伏工	粗朶・わらむしる	〃	〃	〃
	9. 階段工	(略)					階段工	(略)			
10. 植栽工	(略)				植栽工	(略)					
11. なだれ柵工		基準高・基礎幅 バットレスの角度 高さ・延長	施工後	1施工単位に1回	(追加)						
12. 法枠工	簡易法枠	高さ・幅	施工後	1施工単位に1回	(追加)						
	木製枠	法長 木製枠中心間隔	施工後	1施工単位に1回	(追加)						

共通仕様書（農林水産土木工事編）「写真管理基準」 新旧対照表

新（令和7年4月1日）					旧（令和6年4月1日）				
工種	種別	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	工種	種別	撮影項目	撮影時期	撮影頻度
10 保安林整備	(削除)				路盤工	敷砂利	幅・厚さ	施工後	200mに1回又は1施工単位に1回
	(削除)				柵工	編・木・網・丸太	杭長・杭間隔 柵高	施工後	1施工単位に1回
	(削除)				筋工	石・萱・芝・植生袋	階段拵え 階段直高・幅	施工中 施工後	1施工単位に1回
						丸太	杭長・杭間隔 柵高	施工後	1施工単位に1回
	1. 植栽工	(略)				植栽工			
	2. 除伐 (チェーンソー伐以外)	(略)				除伐 (チェーンソー伐以外)			
	3. 除伐 (チェーンソー伐)	(略)				除伐 (チェーンソー伐)			
	4. 本数調整伐	(略)				本数調整伐			
	5. 下刈り		施工状況	施工前 施工後	1施工単位に1回	下刈り	被覆状況	施工前 施工後	標準地毎に1回
	6. 生育基盤盛土工	(略)				生育基盤盛土工			
(削除)					農村公園及び保全林等	施工方法及び状況	施工前 施工中 施工後	1施工単位に1回	
					保育・保護管理諸構造物	管理状況	施工中	施工毎に適宜	
								各種該当工種により撮影する	

共通仕様書（農林水産土木工事編）「写真管理基準」 新旧対照表

新（令和7年4月1日）		旧（令和6年4月1日）	
工種	<u>1 水路工</u> 水路工（インバート下の盛土）	工種	水路工
種別	材料 施工	種別	<u>インバート下の盛土</u>
工種	<u>1 水路工</u> 管水路埋設工・基礎及び埋戻	工種	管水路埋設
種別	材料 施工	種別	<u>基礎及び埋戻し</u>
工種	<u>2 ため池整備工</u> ため池	工種	<u>ため池整備工</u> ため池
種別	（略） 施工（前ランダムゾーン・遮水性ゾーン・後ランダムゾーン）	種別	（略） 前ランダムゾーン・遮水性ゾーン 後ランダムゾーン
工種	<u>5 森林造成（生育基盤盛土工）</u> 生育基盤盛土工	工種	生育基盤盛土工